



環境目的・目標達成状況評価表 (平成21年度)

作成年月日:平成22年6月14日

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) 樽前山麓の森林の保全、育成、充実を図る

森林の働きを十分に発揮させるため、人工林を針広混交複層林へ誘導する	◎: 4目標 ○: 2目標 一: 0目標 ×: 0目標	○	1	「苫小牧市森林整備計画」の周知等、市内の森林整備の方針について広く市民に周知する	上期	市内の森林整備の方針について、植樹祭 (5月頃実施予定) や講演会等の際に周知を行う	5月10日に行った市民植樹祭で参加者150人に周知した	◎	緑地公園課	○
					下期	市内の森林整備の方針について、講演会等の際に周知を行う	講演会等が無かった	○		
			2	産官学民の連携により、間伐材等を有効利用する木質バイオマスエネルギーについて、実用性の可能性について研究する	上期	苫小牧バイオマス研究会に参加し、実用性の可能性について研究する	資源用トウモロコシを利用した大規模バイオエタノール製造拠点形成推進事業が、平成19年度から3年間、バイオ燃料化方策を検討することになった	◎	企業立地課	◎
					下期	苫小牧バイオマス研究会に参加し、実用性の可能性について研究する	同上	◎		
			3	森林機能の充実が図られるよう、必要に応じ森林所有者に対し指導等を行う	上期	台風被害の復旧等を通じ森林機能の充実が図られるよう、森林組合と連携して指導を行う	11月に予定	○	緑地公園課	○
					下期	台風被害の復旧等を通じ森林機能の充実が図られるよう、森林組合と連携して指導を行う	11月に土地所有者に対し指導した	◎		
			4	市内国有林について、関係機関との連携協力により、間伐実施や針広混交林への計画的移行を進め、機能充実を図る	上期	5月頃に実施要請 (清掃等) があり、関係団体に環境目標の協力を行う	5月21日に関係機関との連携により国有林及び民有林内のゴミ拾いを実施した	◎	緑地公園課	◎
					下期	11月頃に実施要請 (清掃等) があり、関係団体に環境目標の協力を行う	11月13日に要請により国有林及び民有林内のごみ拾いを実施した	◎		
			5	緑地保全のため、条例により開発行為の規制及び指導を行う	上期	条例の周知とともに、申請のあった都度、審査を行うとともに必要に応じ指導を行う	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。3件 許可日 5月17日 6月7日 8月31日	◎	環境生活課	◎
					下期	条例の周知とともに、申請のあった都度、審査を行うとともに必要に応じ指導を行う	開発行為の申請があり審査、指導、許可を行った。1件 許可日 3月30日	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			6	開発行為の際に必要な法、条例等の規制について広く周知し、関係機関連携のもと指導にあたる	上期	宅地造成工事等を行っている現場を定期的にパトロールし、許可の内容・条件の遵守を徹底させる	宅地造成工事等の現場をパトロールし、許可条件に基づいて行われているか監督した	◎	開発管理課	◎
					下期	宅地造成工事等を行っている現場を定期的にパトロールし、許可の内容・条件の遵守を徹底させる	宅地造成工事等の現場をパトロールし許可条件に基づいて行われているか監督した (パトロール6回実施)	◎		
森林ボランティアの活動により森林の荒廃を防ぐ思想を育てる	◎：0目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	7	森林ボランティア団体の活動機会を創出し、情報提供を行う	上期	5月頃森林ボランティア団体との連携により、活動の機会を設ける	5月10日に行った市民植樹祭にて国有林及び民有林の森林復旧の協力を受けた	◎	緑地公園課	○
					下期	11月頃森林ボランティア団体の要請に応じ、市民周知を実施する	要請が無かった	○		

(施策) 苫小牧東部地域の森林の保全と里山的利用を進める

苫小牧東部地域の開発にあたっては、森林の連続性を確保しながら保全していく	◎：2目標 ○：3目標 —：0目標 ×：0目標	○	8	関係行政機関や活動団体の調査研究結果の収集を行う	上期	自然保護に有利な調査研究結果の収集を行う	(財)日本野鳥の会(ウトナイ湖サンクチュアリ)から情報収集を行った(毎月1回)	◎	環境生活課	◎
					下期	自然保護に有利な調査研究結果の収集を行う	(財)日本野鳥の会(ウトナイ湖サンクチュアリ)から情報収集を行った(毎月1回)	◎		
			9	関係機関連携のもと、苫小牧東部地域に係る環境影響評価書及び市の基本方針に基づき、東部地域の自然環境を保全する	上期	工場等の新增設がある場合、方針が遵守されるよう関係部署と調整を行う	当期間に問題となる工場等の新增設はなかった	○	企業立地課	○
					下期	工場等の新增設がある場合、方針が遵守されるよう関係部署と調整を行う	同上	○		
			10	「苫小牧市企業立地振興条例」に基づく緑化助成制度の継続と、周知に努め、緑化の推進を図る	上期	東部地域で新增設を行う企業に対し、緑地の確保を促すとともに、緑化助成制度の周知を行い、緑化保全を推進する	東部地域進出企業に対して、緑化助成の周知を行い、緑化保全を推進した 周知 6月12日 6月26日 7月28日 9月4日	◎	企業立地課	◎
					下期	東部地域で新增設を行う企業に対し、緑地の確保を促すとともに、緑化助成制度の周知を行い、緑化保全を推進する	東部地域進出企業に対して、緑化助成の周知を行い、緑化保全を推進した 周知 10月7日 11月25日 12月11日 2月12日 3月2日 3月12日 3月19日	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況		担当課	評価
			11	苫小牧東部開発に関する市の基本方針見直しにあたっては、市民意見反映の機会を設ける	上期	基本方針見直しが生じた際は、市民意見反映の機会を設ける	当期間に方針の見直しはなかった	○	企業立地課	○
					下期	基本方針見直しが生じた際は、市民意見反映の機会を設ける	同上	○		
			12	苫小牧市企業立地審議会条例に基づき、市民意見を反映させる	上期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民の参加する審議会において、調査審議を行う	当期間に条例に該当する工場等の新增設はなかった	○	企業立地課	○
					下期	条例に該当する工場等の新增設がある場合、市民の参加する審議会において、調査審議を行う	同上	○		
苫小牧東部地域の森林を、市民の学習やいこいの空間として里山的利用を進める	◎：0目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	13	苫小牧東部地域の広域公園実現にむけ、北海道や(株)苫東の協力体制を構築する	上期	7月頃、国・道重点要望で、各種事業に苫小牧東部地域の広域公園実施に向けた動きの機会を設ける	北海道等と組織した「苫東和みの森運営協議会設立準備会」にて、6月21日に森のコミュニティセンターイベントを実施した	◎	緑地公園課	○
					下期	実施予定なし	実施なし	○		

(施策) 森林公園など市街地周辺の大規模な自然緑地を保全する

森林公園など市街地周辺の森林機能の充実を進めるとともに、自然生態系が維持されるよう周辺生態系も含めて保全する	◎：4目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	14	緑地保全のため、条例により開発行為の規制及び指導を行う	上期	条例の周知とともに、申請のあった都度、審査を行うとともに必要に応じ指導を行う	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。2件 許可日 5月18日 7月6日	◎	環境生活課	◎
					下期	条例の周知とともに、申請のあった都度、審査を行うとともに必要に応じ指導を行う	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。2件 許可日 12月17日 2月22日	◎		
			15	市民植樹祭などの参加・協力を得ながら、森林公園等市街地周辺の森林整備を行う	上期	市民植樹祭等の事業により、植樹を行う	5月10日に実施し、参加者150人が参加した	◎	緑地公園課	○
					下期	実施予定なし	実施しなかった	○		
			16	緑化推進基金の活用やクリーンアップサポーター制度の推進等により、技術支援も含めて市民の活動支援を行う	上期	市民団体等から相談の都度、制度への登録を促すとともに、可能な範囲で活動支援を行う	基金を活用した公共用地の植樹、またクリーンアップサポーター制度により、一部市民による維持管理を実施した	◎	緑地公園課	◎
					下期	市民団体等から相談の都度、制度への登録を促すとともに、可能な範囲で活動支援を行う	同上	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			17	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止策の実施	上期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止策の実施	実施ケースがなかった	○	清掃事業課	○
					下期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止策の実施	実施ケースがなかった	○		
			18	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	上期	清掃指導員については通常業務として不法投棄の調査、指導を実施。また、不法投棄パトロール員については、5人体制で月8回程度の巡回を実施	清掃指導員の日常業務として週2回、各担当職員による市内全域の巡回(計156回)を実施。また、不法投棄パトロール員による巡回(計231回)により不法投棄の未然防止に努めた	◎	清掃事業課	◎
					下期	清掃指導員については通常業務として不法投棄の調査、指導を実施。また、不法投棄パトロール員については、5人体制で月8回程度の巡回を実施	清掃指導員の日常業務として週2回、各担当職員による市内全域の巡回(計95回)を実施。また、不法投棄パトロール員による巡回(計240回)により不法投棄の未然防止に努めた	◎		
			19	新聞、HP等による周知、啓発の実施	上期	HPに掲載している内容を充実したものに更新していく。また、新聞による啓発を実施する	6月30日清掃事業課HPの「不法投棄」ページを更新。最新の情報提供により市民周知を行った	◎	清掃事業課	◎
					下期	HPに掲載している内容を充実したものに更新していく。また、新聞による啓発を実施する	HPを活用した情報提供により不法投棄の未然防止に努めた	◎		
森林公園など市街地周辺の森林を、生息する動植物と人間が自然の中でふれあいを持てるような場として活用する	◎：0目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	20	苫小牧東部地域の広域公園実現にむけ、北海道や(株)苫東の協力体制を構築する	上期	7月頃、国・道重点要望で、各種事業に苫小牧東部地域の広域公園実施に向けた動きの機会を設ける	北海道等と組織した「苫東和みの森運営協議会設立準備会」にて、6月21日に森のコミュニティセンターイベントを実施した	◎	緑地公園課	○
					下期	実施予定なし	実施なし	○		
			21	緑の基本計画に基づき、場所の提供や人材づくり等を進め、身近な森林での環境学習を推進する	上期	学校等からの要請により、人材の情報提供等、可能な範囲内で活動支援を行う	これまで要請はないが、今後あれば実施する	○	緑地公園課	○
					下期	学校等からの要請により、人材の情報提供等、可能な範囲内で活動支援を行う	要請が無かった	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) とまこまいのおいしい水を守る

水源周辺の森林内容の充実や立ち入りの制限、廃棄物の不法投棄防止など水源の汚染防止対策を進める	◎：5目標 ○：4目標 ー：0目標 ×：0目標	○	22	水源周辺の森林保全と機能充実を図るため、国有林の台風被害復旧や針広混交林への計画的移行などについて関係機関に働きかけを行う	実施予定なし	実施予定なし	○	水道整備課	○
					台風被害復旧や移行計画について、国有林野所在地市町村長協議会での要望を要請する	台風被害復旧及び、針広混合林への計画的移行について11月に緑地公園課を經由して要望書を提出した	◎		
			23	水源のパトロール体制を強化し、定期的なパトロールと清掃を行う	毎月1回、水源のパトロールと清掃の実施	毎月1回の水源のパトロールと清掃活動を計画どおり実施した	◎	高丘浄水場	◎
					毎月1回、水源のパトロールと清掃の実施	計画通り実施した	◎		
			24	水源のパトロール体制を強化し、定期的なパトロールと清掃を行う	週1回、定期的なパトロールを実施して水源の環境監視をおこなう。上期1回、市民と共に水源の清掃を実施する	週1回のパトロールを実施した。「水を汚染から守る会で」5月22日に河川清掃を実施した	◎	錦多峰浄水場	◎
					週1回、定期的なパトロールを実施して水源の環境監視をおこなう。下期1回、市民と共に水源の清掃を実施する	週1回のパトロールを実施した。「水を汚染から守る会で」11月12日に河川清掃を実施した	◎		
			25	水源周辺の国有林について、関係機関との連携協力により、間伐実施や針広混交林への計画的移行を進め、機能充実を図る	実施予定なし	実施なし	○	緑地公園課	○
					関係部署連携のもと、台風被害復旧や移行計画について、11月頃開催される、国有林野所在地市長村長協議会で要望を行う	1月に札幌地区国有林野等市町村長有志協議会で要望した	◎		
			26	要綱の趣旨を周知し、また事前協議を行うことにより、不法投棄や汚染水の排水などによる水源の汚染を未然に防止する	市広報紙(7月)及び上下水道部HPにより周知	上下水道部HP及び広報7月号特集により周知した	◎	水道整備課	◎
					上下水道部広報紙「水だより」(12月)及び上下水道部HPにより周知	「水だより」24号を12月に発行した。上下水道部HPには引き続き公開中した	◎		
			27	水源に影響を及ぼすと考えられる箇所把握とともに、ゴミの投げ捨てや汚濁水流入防止など水源汚染防止対策を計画的に進める	影響箇所の把握	月に1回実施している河川流量観測時に併せ影響箇所の把握に努めた	◎	水道整備課	◎
					影響箇所の把握及び汚染防止対策の検討	水源に影響を及ぼす土砂崩落箇所を把握するため現地調査し、その対応策について関係機関に要望書を提出した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			28	「水を汚染から守る会の連絡協議会」の水源の年1回以上の清掃活動に参加・協力を行う	上期	連絡協議会の清掃活動に対し、積極的に参加・協力を行う	連絡協議会からの要請により、積極的に参加・協力を行った。 (5月21日実施。場所は錦多峰川上流。2名参加)	◎	水道管理課	◎
					下期	連絡協議会の清掃活動に対し、積極的に参加・協力を行う	連絡協議会からの要請により、積極的に参加・協力を行った。 (11月12日実施。場所は錦多峰川上流。2名参加)	◎		
			29	イベント参加者に節水や排水汚染防止の理解を求め意識の高揚を図る	上期	水道週間(6月1日～7日)行事の一環として行う市民対象の水道施設見学会(6月7日)で節水や排水汚染防止の理解を求める	雨天により施設見学会は中止となったが、広報等により節水や排水汚染防止のPRを行った	○	(上下水)総務課	○
					下期	予定なし	3月23日未水洗化家屋に対し、水洗化を依頼をした	◎		
			30	水道見学会や「丸山水源の森」の植樹会などを実施し、水源と森林保全の重要性を体験することにより周知を図る	上期	水道施設見学会(6月)の実施	6月7日予定の水道施設見学会が雨天中止となり、錦多峰浄水場の施設見学会のみ実施した	○	水道整備課	○
					下期	実施予定なし	実施なし	○		

(施策) 河川の良好な環境を保全する

河川への排水や廃棄物の不法投棄などに対する規制を強化し、多様な生物の生息環境を創造する	◎: 6目標 ○: 3目標 —: 0目標 ×: 0目標	○	31	ボランティア活動に対してゴミ袋の提供や回収された廃棄物の収集を行う。また、イベントと連携し環境美化の活動を行う	上期	春の大掃除を実施(4月中旬から1ヶ月)町内会、事業所、学校等の団体に参加要請し、ゴミ袋の提供、廃棄物の収集を実施する	4月19日～5月18日までを大掃除月間として、河川付近も含め町内会、事業所等233団体(21,533名)により清掃活動を実施(回収量14,620kg)。ボランティア団体に対し、ゴミ袋の提供及び廃棄物の収集等支援を行った	◎	清掃事業課	◎
					下期	秋の大掃除を実施(10月中旬から1ヶ月)町内会、事業所、学校等の団体に参加要請し、ゴミ袋の提供、廃棄物の収集を実施する	10月1日～31日までを大掃除月間として河川付近も含め町内会、事業所等229団体(20,596名)により清掃活動を実施(回収量15,560kg)。ボランティア団体に対し、ゴミ袋の提供及び廃棄物の収集等支援を行った	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			32	活動実態の把握とともに、アダプトプログラムの導入等活動支援策の検討を行う	上期	市民等からの要請に応じ可能な範囲で支援を行う。また、月1回の河川パトロールにより不法な排水や廃棄物投棄を規制する	市民等からの要請はなかったが、月1回のパトロールにより不法行為の規制を行った (不法行為なし)	◎	道路河川課	◎
					下期	市民等からの要請に応じ可能な範囲で支援を行う。また、月1回の河川パトロールにより不法な排水や廃棄物投棄を規制する	市民等からの要請はなかったが、月1回のパトロールにより不法行為の規制を行った (不法行為なし)	◎		
			33	各種法令・条例の周知および指導により、河川の水質環境を保全する	上期	公害が発生した場合には、関係機関と連絡調整し対応する	特に大きな苦情はなかった	○	環境保全課	○
					下期	公害が発生した場合には、関係機関と連絡調整し対応する	河川の油流出に関して苫小牧地方環境監視室や庁内関係部局と連絡調整し対応した	◎		
			34	水洗化を促すため、未水洗化世帯に対する指導を行う	上期	予定なし	実施なし	○	(上下水)総務課	○
					下期	下水道の新年度供用開始通知(3月送付)に合わせて、水洗化のPRをする	3月23日未水洗化家屋に対し、水洗化を依頼をした	◎		
			35	可能な範囲内で、河川のパトロール及び対象事業所等への立入り調査を実施し指導を行う	上期	河川の日視調査及び対象事業所等への立入り調査を年1回可能な範囲で調査する	外勤中に河川の日視調査を実施数カ所の事業所の調査を実施。不法投棄等はなかった	◎	下水道計画課	◎
					下期	河川の日視調査及び対象事業所等への立入り調査を年1回可能な範囲で調査する	外勤中に河川の日視調査を実施数箇所の事業所の調査を実施。不法投棄等はなかった	◎		
			36	合流改善事業の計画的実施	上期	合流改善計画が進むよう、事業内容を検討する	合流改善計画の策定を完了した	◎	下水道計画課	◎
					下期	次年度の事業計画を具体化し、事業箇所を決定する	次年度の事業計画の策定を完了した	◎		
			37	関係機関連携のもと、水質監視および指導を行い、結果を公表する	上期	北海道が実施する河川の水質調査を把握する	平成20年度北海道の河川水質調査結果を把握した。公表は環境白書により下期に行う	◎	環境保全課	◎
					下期	北海道が実施する河川の水質調査結果を環境白書に掲載する	平成20年度北海道の河川水質調査結果を環境白書に掲載した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			38	美々川流域の北海道自然環境保全地域の指定実現に向け、関係機関との調整、働きかけを行う	上期	早期実現のため、関係機関との調整、働きかけを行う	北海道の担当課より進捗状況についての情報収集、及び早期実現の要請を行った	◎	環境生活課	◎
					下期	早期実現のため、関係機関との調整、働きかけを行う	北海道の担当課より進捗状況についての情報収集、及び早期実現の要請を行った	◎		
			39	関係機関との連携のもと、美々川流域における自然再生事業を推進する	上期	技術検討委員会等へ参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	委員会及び関係機関からの要請がなかった	○	道路河川課	○
					下期	技術検討委員会等へ参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	委員会及び関係機関からの要請がなかった	○		

(施策) 生態系に配慮した、親水機能を備えた河川整備を進める

生態系に配慮し、河川を生き物とふれあえる親水空間として整備する	◎：1目標 ○：4目標 —：0目標 ×：0目標	○	40	河川整備の際には、環境基本計画との整合を図りながら河川整備基本方針を策定し公表する	上期	方針策定を要する整備が生じた場合に実施する	方針策定を要する整備がなかった	○	道路河川課	○
					下期	方針策定を要する整備が生じた場合に実施する	方針策定を要する整備がなかった	○		
			41	河川整備の際には、住民の意見を取入れながら河川整備計画を策定し公表する	上期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する	計画策定する整備がなかった	○	道路河川課	○
					下期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する	計画策定する整備がなかった	○		
			42	市管理外の市内河川における河川整備計画策定の際、必要に応じ住民の意見を取入れ公表を行うよう関係機関に働きかけを行う	上期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する	計画策定する整備がなかった	○	道路河川課	○
					下期	計画策定を要する整備が生じた場合に実施する	二級河川安平川水系整備検討委員会(3月実施)において、住民代表を含めた会議に参加した	◎		
			43	河川改修や整備の際には「北海道環境配慮指針」などを参考にしながら、生態系に配慮を行う	上期	整備が生じた際に可能な範囲内で実施する	錦岡川改修工事において、環境に配慮した工法(かごマット)で整備した	◎	道路河川課	◎
					下期	整備が生じた際に可能な範囲内で実施する	豊木皮改修工事において、環境に配慮した工法(木杭+金網マット)で整備した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価
			44	関係機関との連携のもと、美々川流域における自然再生事業を推進する	上期 技術検討委員会等へ参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	委員会及び関係機関からの要請がなかった	○	道路河川課	○
					下期 技術検討委員会等へ参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	委員会及び関係機関からの要請がなかった	○		

(施策) 多様な生物の生息環境である湿原とその周辺を一体的に保全する

湿原に親しみ、その価値を正しく認識して開発抑制を図るなど、保全に努める	◎: 2目標 ○: 3目標 —: 0目標 ×: 0目標	○	45	市民からの保全地区指定の申し出に対し、市自然環境保全条例に基づく検討を行うとともに、その結果の公表を行う	上期	市民からの申し出や市独自の調査に基づき、検討を行う	保全地区指定の申し出はなかった	○	環境生活課	○
					下期	市民からの申し出や市独自の調査に基づき、検討を行う	保全地区指定の申し出はなかった	○		
			46	美々川流域の北海道自然環境保全地域の指定実現に向け、関係機関との調整、働きかけを行う	上期	早期実現のため、関係機関との調整、働きかけを行う	北海道の担当課より進捗状況についての情報収集、及び早期実現の要せを行った	◎	環境生活課	◎
					下期	早期実現のため、関係機関との調整、働きかけを行う	北海道の担当課より進捗状況についての情報収集、及び早期実現の要せを行った	◎		
			47	新たな保全対策の検討材料とするため、ウトナイ周辺の環境調査を計画的に実施する	上期	実施予定なし	実施しなかった	○	環境生活課	○
					下期	調査実施のための予算計上を行う	新年度の予算請求を行ったが、予算の計上はされなかった	○		
			48	美々川水系調査をはじめウトナイ湖への流入河川の水質・水量のモニタリングを関係機関連携のもと継続して実施する	上期	美々川水系の水質調査を実施する	美々川、及び流入河川の水質調査を8月25日に実施した	◎	環境保全課	◎
					下期	美々川水系の水質調査結果を環境白書に掲載する	美々川および流入河川の水質調査を4回実施し、その結果をHPに掲載した	◎		
			49	関係機関との連携のもと、美々川流域における自然再生事業を推進する	上期	技術検討委員会等へ参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	委員会及び関係機関からの要請がなかった	○	道路河川課	○
					下期	技術検討委員会等へ参加する。また、関係機関からの要請に応じ、可能な範囲で協力を行う	委員会及び関係機関からの要請がなかった	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) 市民が身近にふれあえる緑豊かな都市公園づくりを進める

地域住民のニーズや特性にあった公園を住民参加で作成、管理運営を進める	◎：4目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	50	「緑の基本計画」に基づき、公園づくりに広く市民・事業者の声・アイデアを取り入れるためのしくみを検討する	上期	公園の新設や再整備の都度、必要に応じ、発注計画に合わせて地域の町内会の意見聴取を行う	当該地域の町内会を通じ意見聴取を行い整備した	◎	緑地公園課	◎
					下期	公園の新設や再整備の都度、必要に応じ、発注計画に合わせて地域の町内会の意見聴取を行う	同上	◎		
			51	緑の基本計画に基づき、老朽化した遊具等の更新や危険箇所の改善など、計画的公園整備を行う	上期	公園再整備を実施し、安全安心の確保に努める。また、既存の道具等の安全点検を実施する	整備予定等については、HP上で市民に周知した	◎	緑地公園課	◎
					下期	公園再整備を実施し、安全安心の確保に努める。また、既存の道具等の安全点検を実施する	同上	◎		
			52	郷土に合った樹種により、公園等の緑化を進めると共に、街に死角を作らないよう緑の配置について適正に行う	上期	郷土の樹種（ナナカマド等）による、公園・緑地等の緑化整備を実施する	18公園、道路で植樹を実施。今後も継続して行う予定した	◎	緑地公園課	◎
					下期	郷土の樹種（ナナカマド等）による、公園・緑地等の緑化整備を実施する	7公園、道路、その他で植樹を実施した	◎		
			53	「トマコマイクリーンアップサポーター制度」を推進し、市民と協同で公園の維持管理を行う	上期	制度の周知とともに、既存登録団体（23団体）に必要に応じて支援を行う	HPで周知し、登録サポーターには維持管理で使用する資材を提供した	◎	緑地公園課	◎
					下期	制度の周知とともに、既存登録団体（23団体）に必要に応じて支援を行う	同上	◎		

(施策) 街中の緑を地域ぐるみで守り育てる

公共施設や事業所敷地の緑化を、景観の向上を図りながら、地域ぐるみで推進する	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	54	「緑の基本計画」の市民の認知度を高めるための対策を講じる	上期	HPでの計画内容周知の他、事業推進により市民の認知度を高める	HPで緑の基本計画を掲載し、周知した	◎	緑地公園課	◎
					下期	HPでの計画内容周知の他、事業推進により市民の認知度を高める	同上	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価
			55	地域や学校の参加により、学校敷地等公共施設の緑化を進める	上期 5月頃実施する市民植樹祭や、町内会や学校への緑化支援の実施	5月10日に市民植樹祭を実施し、33町内会、30小中学校に対し緑化植樹等の支援を実施した	◎	緑地公園課	◎
					下期 地域や学校からの要請に応じ技術支援や、相談の受付実施	1団体に対し植樹等の支援を実施	◎		

(施策) 市街地を緑の回廊で結ぶ並木道の整備を進める

市街地周辺の森林と市街地の緑地を街路樹で結び、野鳥などを呼び込む緑の回廊として地域ぐるみで整備を進める	◎：3目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	56	郷土に合った樹種により、沿道及び公園等の緑化を進めると共に、街に死角を作らないよう緑の配置について適正に行う	上期	郷土の樹種（ナナカマド等）による、公園・緑地等の緑化整備を実施する	18公園、道路で植樹を実施。今後も継続して行う予定	◎	緑地公園課	◎			
					下期	郷土の樹種（ナナカマド等）による、公園・緑地等の緑化整備を実施する	同上	◎					
			57	街路樹の維持管理を計画的に行う	上期	街路樹木剪定や生垣の刈込等の維持管理を実施する	良好な景観を保つよう生垣の刈込みや除草を主体に実施した。今後は剪定を主体に実施予定	◎	緑地公園課	◎			
					下期	街路樹木剪定や生垣の刈込等の維持管理を実施する	良好な景観を保つよう、高木の剪定を実施した	◎					
			58	「トマコマイクリーンアップサポーター制度」を推進する	上期	HP等により、制度・内容について周知する	HPで周知し、登録サポーターには維持管理で使用する資材を提供した	◎	緑地公園課	◎			
					下期	HP等により、制度・内容について周知する	同上	◎					
			大気汚染や騒音、塩害・風害等に対する緩衝機能を有する街路樹の充実を図る	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	59	既存街路樹及び緑地帯の維持管理を計画的に行い、大気汚染や騒音等の緩衝機能を維持する	上期	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう生垣の刈込みや除草を主体に実施した。今後は剪定を主体に実施予定	◎	緑地公園課	◎
								下期	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	同上	◎		

(施策) 海浜の自然環境を再生し、保全に努める

海辺の多様な自然生態系を保全し、憩い遊べる海浜に再生する	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	60	関係機関との連携・協力により、魚礁や離岸堤設置、緩傾斜護岸整備など生態系保全対策を計画的に行う	上期	生態系保全対策事業が実施される場合には関係機関と連携し、積極的に協力する	今期間中に事業の実施、要請はなかった	○	農業水産課	○
					下期	胆振海岸保全対策水産部会に出席し21年度の緩傾斜護岸整備計画の説明を受ける	胆振海岸保全対策水産部会に出席し、計画の説明を受けたが特に協力要請はなかった	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況										
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価					
			61	生態系調査など関係機関で実施する調査結果の把握を行う	上期	関係機関が生態系調査を実施した場合は、積極的に協力するとともに、調査結果報告書の提出を依頼する	5月27日、道立栽培水産試験場が行った胆振海域におけるシシヤモ分布調査に協力し、結果報告書の提出を得た。(7月1日) また、10月1日に同栽培水産試験場が行ったホッキ貝資源量調査(再調査)にも協力し、10月14日に調査報告書の提出を得た	◎	農業水産課	◎			
					下期	栽培漁業振興公社が実施する元町の人口リーフにおける生態調査結果を3月の水産部会で報告を受ける	3月12日に札幌市で行われた胆振海岸保全対策水産部会に出席し、栽培漁業公社が実施した元町の人口リーフにおける生態調査の結果報告を受けた	◎					
			62	関係機関との連携・協力により、離岸堤設置による海岸侵食防止対策等、自然環境保全対策を計画的に進める	上期	4月に自然環境保全対策を協議する機会があれば積極的に参加し、関係機関と連携・協力する	5月25日、河川工事連絡協議会(開建事務局)に参加し、自然環境保全対策に関する協議を行った	◎	農業水産課	◎			
					下期	自然環境保全対策に関する協議の機会があれば積極的に参加し、関係機関と連携・協力する	今期間中に関係機関からの協力要請はなかった	◎					
			海やそこに流れ込む川への廃棄物の不法投棄を防ぐとともに、ゴミのないきれいな海浜にする	◎: 4目標 ○: 1目標 —: 0目標 ×: 0目標	○	63	ボランティア活動に対してゴミ袋の提供や回収された廃棄物の収集を行う	上期	春の大掃除を実施(4月中旬から1ヶ月)町内会、事業所、学校等の団体に参加要請し、ゴミ袋の提供、廃棄物の収集を実施する	4月19日から5月18日までを大掃除月間として、河川付近も含め町内会、事業所等233団体(21,533名)により清掃活動を実施(回収量14,620kg)。ボランティア団体に対し、ゴミ袋の提供及び廃棄物の収集等支援を行った	◎	清掃事業課	◎
								下期	秋の大掃除を実施(10月中旬から1ヶ月)町内会、事業所、学校等の団体に参加要請し、ゴミ袋の提供、廃棄物の収集を実施する	10月1日から10月31日までを大掃除月間として、河川付近も含め町内会、事業所等229団体(20,596名)により清掃活動を実施(回収量15,560kg)。ボランティア団体に対し、ゴミ袋の提供及び廃棄物の収集等支援を行った	◎		
64	関係機関連携のもと、アダプトプログラムの導入等活動支援策の検討を行う	上期				関係機関連携による周辺パトロールの強化をし、管理者の開催する年1回の海岸清掃に参加する	関係機関連携による海岸清掃を実施した(7月30日写真添付)	◎	道路河川課	◎			
		下期	関係機関連携による周辺パトロールの強化をし、管理者の開催する年1回の海岸清掃に参加する	月1回の河川パトロールの際に周辺パトロールを実施した	◎								

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況		担当課	評価
			65	新聞、HP等による周知、啓発の実施	上期	HPに掲載している内容を充実したものに更新していく。また、新聞による啓発を実施する	6月30日清掃事業課HPの「不法投棄」ページを更新した。最新の情報提供により市民周知を行った	◎	清掃事業課	◎
					下期	HPに掲載している内容を充実したものに更新していく。また、新聞による啓発を実施する	HPを活用した情報提供により、不法投棄の未然防止に努めた	◎		
			66	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止策の実施	上期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止策の実施	実施ケースがなかった	○	清掃事業課	○
					下期	郵便局及び北海道・警察・土現等との連携による不法投棄防止策の実施	実施ケースがなかった	◎		
			67	清掃指導員及び不法投棄パトロール員による巡回実施	上期	清掃指導員については通常業務として不法投棄の調査、指導を実施。また、不法投棄パトロール員については、5人体制で月8回程度の巡回を実施	清掃指導員の日常業務として、各担当職員による海浜、河川の巡回（計17回）により、不法投棄の未然防止に努めた	◎	清掃事業課	◎
					下期	清掃指導員については通常業務として不法投棄の調査、指導を実施。また、不法投棄パトロール員については、5人体制で月8回程度の巡回を実施	清掃指導員の日常業務として、各担当職員による海浜、河川の巡回（計17回）により、不法投棄の未然防止に努めた	◎		

(施策) 海洋汚染の防止に努める

海域に放流される工場排水の水質改善や、船舶の航行にともなう油漏れ、あるいは新たな汚染物質への対応によって、海洋汚染対策を進める	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	68	海洋汚染に対し関係機関等から情報収集や他市町村で起こった事故などの情報収集を行う	上期	排出油等防除協議会会議に参加する。随時、他市長村で起こった事故などの情報収集を行う	左記の会議は、開催されなかった。他市町村で大きな事故はなかった	○	危機管理室	○
					下期	排出油等防除協議会会議に参加する。随時、他市長村で起こった事故などの情報収集を行う	左記の会議に参加した。他市町村で大きな事故は発生しなかった	◎		
			69	所管官庁の取組についての情報を把握するとともに、必要に応じ対策の働きかけや協力を行う	上期	北海道が実施する海域の水質調査結果を把握する	平成20年度北海道の海域水質調査結果を把握した	◎	環境保全課	◎
					下期	北海道が実施する海域の水質調査結果を環境白書に掲載する	平成20年度北海道の海域水質調査結果を環境白書に掲載した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			70	関係法令および協定に基づく、監視および規制、指導を行う	上期	北海道が実施する海域水質調査結果並びに、協定企業の水質自主測定結果を把握する	平成20年度北海道の海域水質調査結果、及び協定企業の水質自主測定結果を把握した	◎	環境保全課	◎
		下期			北海道が実施する海域水質調査結果を環境白書に掲載する	平成20年度北海道の海域水質調査結果を環境白書に掲載した	◎			
家庭や事業所での排水の汚濁に配慮し、下水処理の負担を軽減する	◎：3目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	71	合流改善事業の計画的実施	上期	合流区域の分流化を15ha、汚水幹線に着手する	汚水幹線の工事に着手した	◎	下水道計画課	◎
					下期	管内貯留堰2箇所を整備する	管内貯留堰の工事を完了した	◎		
			72	可能な範囲内で、対象事業所等への立入調査、水質検査を実施し指導を行う	上期	河川の日視調査及び対象事業所等への立入り調査を年1回可能範囲で調査する	数ヵ所の事業所の調査を実施した	◎	下水道計画課	◎
					下期	河川の日視調査及び対象事業所等への立入り調査を年1回可能範囲で調査する	数ヵ所の事業所の調査を実施した	◎		
			73	処理施設の見学会などを継続するとともに、学生によるインターシップの場を提供し、下水道への理解高揚を図る	上期	市民に対し、下水道についての理解を深めるよう啓発に努める	小学生など10団体691名の団体に対し施設見学会を実施し下水道についての理解を深めるよう啓発を行った	◎	西町下水処理センター	◎
					下期	市民に対し、下水道についての理解を深めるよう啓発に努める	小学生など10団体160名の団体に対し施設見学会を実施し下水道についての理解を深めるよう啓発を行った	◎		
			74	処理施設の見学会などを継続するとともに、学生によるインターシップの場を提供し、下水道への理解高揚を図る	上期	学校等団体から要請があれば、施設見学やインターシップの場の提供に努める	8月28日、清水小学校4年生の児童と教諭計45名が施設見学に訪れ、下水道の仕組みや施設の紹介を行った	◎	高砂下水処理センター	○
					下期	学校等団体から要請があれば、施設見学やインターシップの場の提供に努める	施設見学及びインターシップの場を提供することはなかった	○		
			75	処理施設の見学会などを継続するとともに、学生によるインターシップの場を提供し、下水道への理解高揚を図る	上期	学校等団体から施設見学やインターシップの要請があれば、積極的に機会を儲け下水道について理解してもらうように努める	学校等団体からの要請がなかった	○	勇払下水処理センター	○
					下期	学校等団体から施設見学やインターシップの要請があれば、積極的に機会を儲け下水道について理解してもらうように努める	学校等団体からの要請がなかった	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価	
(施策) 安全な海の恵みを守る									
安全な水産物の産地として、海洋資源の保全と育成に努める	◎：5目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	76	関係機関連携のもと、地元水産資源の情報把握・整理を行う	上期	4月に関係機関・漁協と合同でホッキ冬漁場西部海域の資源量調査を実施する。8月に北海道が行なうマツカワ種苗放流事業に積極的に協力する。毎月漁協から提出の漁業生産高調査書を基に、月別・累計生産高を把握する	4月8日に行われたホッキ冬漁場西部海域の資源量調査を市、漁協栽培水産試験場、水産技術普及指導所にて行い、5月21日に調査報告書が提出された。8月7日、道が行ったマツカワ種苗放流事業に参加。8月25日にはマツカワ種苗追跡調査に参加した	農業水産課	◎
					下期	11月に関係機関・漁協と合同でホッキ冬漁場西部海域の資源量調査を実施する。漁獲枠があるスケトウダラの漁獲高及び漁獲達成度調査を実施する。毎月漁協から提出される漁業生産高調査書を基に、月別・累計生産高を把握する	11月10日に漁協栽培漁業振興公社、栽培水産試験場などの関係機関とともにホッキ夏漁場西部海域を対象にホッキ貝の資源調査を実施した		◎
			77	関係機関との連携のもと、関係法、条例、協定に基づき、監視、規制・指導の徹底、河川の水質汚濁を防止する	上期	北海道が実施する河川海域の水質調査結果を把握する	平成20年度北海道の河川海域の水質調査結果を把握した	環境保全課	◎
					下期	北海道が実施する河川海域の水質調査結果を環境白書に掲載する	平成20年度北海道の河川海域の水質調査結果を環境白書に掲載した		◎
			78	水産資源保護対策の一環として、漁業関係者や関係行政機関連携のもと不法投棄監視体制の整備検討を行う	上期	5月に水産・水道関係者とともに錦多峰川沿いの河川清掃を行なう。7月に関係機関・町内会とともに海岸清掃を行なう	5月21日、水産、上下水道関係者とともに錦多峰川河川清掃を行った。7月30日、関係機関、町内会とともに海岸清掃に参加した	農業水産課	◎
					下期	9・11月に漁協が実施する港内清掃作業に参加する	10月に漁協とともに漁港区内の清掃作業を実施した		◎
			79	水源周辺の国有林について、関係機関との連携協力により、間伐実施や針広混交林への計画的移行を進め、機能充実を図る	上期	実施予定なし	実施なし	緑地公園課	○
					下期	関係部署連携のもと、台風被害復旧や移行計画について、11月頃の国有林野所在地市町村長協議会で要望を行う	同上		◎

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			80	合流改善事業の計画的実施	上期	合流区域の分流化を15ha、汚水幹線に着手する	汚水幹線の工事に着手した	◎	下水道計画課	◎
					下期	管内貯留堰を2箇所整備する	管内貯留堰の工事を完了した	◎		
			81	資源育成のため、魚礁設置事業などを計画的に実施する	上期	5月に道の魚礁沈設工事に伴う魚礁組立工事現場の土地借用の協議を実施する	10月2日、漁協、胆振支庁とともに来年度以降の水産基盤整備事業計画について協議した	◎	農業水産課	◎
					下期	12月に道と魚礁の積出地の土地借用を協議し、沈設作業を実施する	魚礁の積出地の土地借用協議は上期に実施済みだったため完成した魚礁の積出し、沈設作業を実施した	◎		

(施策) 多様な野生生物と一緒に生きられる豊かな環境をつくりだす

野生生物の生活圏となる森林の確保を図るなど、多様な生物と一緒に生きられる豊かな環境の整備に努める	◎：5目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	82	関係行政機関や活動団体の調査研究結果の収集を行う	上期	自然保護に有利な調査研究結果の収集を行う	(財)日本野鳥の会(ウトナイ湖サンクチュアリ)からウトナイ湖周辺の自然観察や鳥類調査結果の収集を行った(毎月1回)	◎	環境生活課	◎
					下期	自然保護に有利な調査研究結果の収集を行う	(財)日本野鳥の会(ウトナイ湖サンクチュアリ)からウトナイ湖周辺の自然観察や鳥類調査結果の収集を行った(毎月1回)	◎		
			83	市民からの保全地区指定の申し出に対し、市自然環境保全条例に基づく検討を行うとともに、その結果の公表を行う	上期	市民からの申し出や市独自の調査に基づき、検討を行う	保全地区指定の申し出はなかった	○	環境生活課	○
					下期	市民からの申し出や市独自の調査に基づき、検討を行う	保全地区指定の申し出はなかった	○		
			84	条例により開発規制及び指導を行う	上期	条例の周知とともに、申請のあった都度、審査を行うとともに必要に応じ指導を行う	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。5件 許可日 4月30日 5月18日 6月17日 7月6日 8月31日	◎	環境生活課	◎
					下期	条例の周知とともに、申請のあった都度、審査を行うとともに必要に応じ指導を行う	開発行為の申請があり、審査、指導、許可を行った。4件 許可日 12月16日 12月17日 2月22日 3月30日	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
			85	関係団体との連携のもと、飼い方のルール啓発指導を行う	上期	ペットの飼育の啓発を広報紙に掲載(4月、6月)及び必要に応じ飼い方の指導を行う	狂犬病予防接種のお知らせ(4月号)、ペットの飼い方(7月号)の広報掲載、ペットの苦情等で飼い主に指導を行った(苦情処理件数 106件)	◎	環境生活課	◎
					下期	ペットの飼育の啓発を広報紙に掲載(10月)及び必要に応じ飼い方の指導を行う	狂犬病予防注射(10月号)、ペットのフン指導看板の設置、(都市建設部依頼、引渡し)、パンフレット、しつけテキスト希望者配布(苦情処理件数94件)	◎		
			86	所管官庁で実施する外来種の動植物の投棄及び放流などの防止対策に必要な応じた協力を行う	上期	所管官庁からの要請や市からの情報提供など、協力を行う	要請はなかった	○	環境生活課	○
					下期	所管官庁からの要請や市からの情報提供など、協力を行う	要請はなかった	○		
			87	所管官庁で実施する捕獲事業に協力するとともに、市独自でもアライグマの捕獲を行う	上期	所管官庁からの要請の都度、協力を行うとともに、市民等からの通報等により市でアライグマの捕獲を行う	市及び市民(従事者)により捕獲を行った。4~9月 捕獲数49頭	◎	環境生活課	◎
					下期	所管官庁からの要請の都度、協力を行うとともに、市民等からの通報等により市でアライグマの捕獲を行う	市及び市民(従事者)により捕獲を行った。10~3月 捕獲数24頭	◎		
			88	「自然ふれあい教室」の実施や野生鳥獣保護センターでのイベントの開催などにより、自然とのふれあい方について学ぶ機会を提供する	上期	探鳥会(5月)、愛鳥週間ポスター原画展(6月)、野鳥救護ボランティア講座(7月)、自然ふれあい教室を5回実施する	春の市民探鳥会(5月24日)、原画展(6月6日~14日)、野鳥の救護講座(7月18日)、秋の探鳥会(9月27日)、自然ふれあい教室(9回)を実施した	◎	環境生活課	◎
					下期	野鳥救護ボランティア講座(1月)、自然写真・水鳥絵画展(3月)、自然ふれあい教室を5回実施する	野鳥救護ボランティア講座(1月17日)で自然写真・水鳥絵画展(2月13日~3月28日)、野生鳥獣保護センターでの各種事業を実施した。自然ふれあい教室を行った(1回)	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) 自然観察会など自然とふれあい学ぶ機会の充実や人材活用を進める

地域の人材を活用した、地域や学校での自然とふれあい学ぶ機会の充実	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	89	「自然ふれあい教室」の実施や野生鳥獣保護センターでのイベントの開催などにより、自然とのふれあい方について学ぶ機会を提供する	上期	探鳥会 (5月)、愛鳥週間ポスター原画展 (6月)、野鳥救護ボランティア講座 (7月)、自然ふれあい教室を5回実施する	春の市民探鳥会 (5月24日)、原画展 (6月6日～14日)、野鳥の救護講座 (7月18日)、秋の探鳥会 (9月27日)、自然ふれあい教室 (9回) を実施した	◎	環境生活課	◎
					下期	野鳥救護ボランティア講座(1月)、自然写真・水鳥絵画展(3月)、自然ふれあい教室を5回実施する	野鳥救護ボランティア講座(1月17日)で自然写真・水鳥絵画展(2月13日～3月28日)、野生鳥獣保護センターでの各種事業を実施した。自然ふれあい教室を行った(1回)	◎		
			90	苫小牧市自然環境保全地区での探鳥会やウトナイ湖での漁業体験ツアーなどを実施する	上期	自然環境保全地区探鳥 (5月) ウトナイ湖漁業体験ツアー (9月) を実施する	自然環境保全地区探鳥会を5月24日に実施し、433名参加した。ウトナイ湖漁業体験ツアーを9月6日に実施し、61名参加した	◎	環境生活課	○
					下期	実施予定なし	実施しなかった	○		
			91	リーダー養成事業 (小5～高3) でサマーキャンプ・ウィンターキャンプによる野外生活体験の実施	上期	6月上旬から「サマーキャンプ」の実施計画の策定に入り8月上旬に開催する	8月22日(土)～23日(日)に、69名で実施した。新聞紙を利用してを執行するなどエコについて考慮した	◎	青少年課	◎
					下期	10月上旬から「ウィンターキャンプ」の実施計画の策定に入り、1月上旬に開催する	平成22年1月9日(土)～10日(日)にかけて実施し、37名が参加した。星空観察やミプラネタリウム作りなどを体験したほか、「みつろう」を使ったろうそく作りなどで、自然素材の良さを体験した	◎		

(施策) 自然とふれあい学ぶ場の拠点化やネットワーク化を推進する

自然とふれあい学ぶ場を作り、ネットワークで結ぶ	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	92	地域や学校の参加により、学校敷地等公共施設の緑化を進める	上期	5月頃実施する市民植樹祭や町内会や学校への緑化支援の実施	5月10日に市民植樹祭を実施し、33町内会、30小中学校に対し緑化植樹等の支援を実施した	◎	緑地公園課	◎
					下期	地域や学校からの要請に応じ技術支援や、相談の受付実施	同上	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価	
			93	処理センターの上部空間や場内空間の緑化推進を図り、自然とふれあい場として開放を行う。また、より利用しやすい空間を地域住民に提供するため特に敷地内芝生面の清掃はこまめに行う	定期的に敷地内の芝刈りや清掃を行い、パークゴルフや子供の遊び場としての場内空間を随時開放し自然とふれあう場の提供に努める 定期的に敷地内の芝刈りや清掃を行い、パークゴルフや子供の遊び場としての場内空間を随時開放し自然とふれあう場の提供に努める	多数の老人がパークゴルフに、又、多数の子供がサッカー、キヤッチボールに開放場所を利用していた 多数の老人がパークゴルフに、多数の子供がサッカー、野球に、また冬には雪遊びに開放場所を利用していた	◎	高砂下水処理センター	◎

(施策) ゴミになるものは買わず、適量購入の暮らしを実現してゴミの減量を図る

ゴミになるものを買わないようにし、使い捨ての生活様式を改めてゴミの減量を図る	◎: 5目標 ○: 1目標 —: 0目標 ×: 0目標	○	94	マイハシ・マイカップ・マイボトルの利用や包装リフューズ(お断り)を促す啓発を実施するなど、もったいない運動の推進を図る	適量購入推進のため、市やスーパーの各種イベント等を通し、使い捨ての抑制等、ごみ発生抑制対策として「3マイ促進運動」により推進を図る 適量購入推進のため、市やスーパーの各種イベント等を通し、使い捨ての抑制等、ごみ発生抑制対策として「3マイ促進運動」により推進を図る	5月30日は530(ごみゼロ)の日として、エコライフ大作戦「もったいない運動」のイベントを開催。マイ箸の持参や廃食油石鹸の活用等「ごみ減量」を来場者にPRした。先着500名にマイ箸を配布した 「第36回みんなの消費生活展」参加により、マイ箸持参普及活動として、主に廃プラを中心に資源物の分別についてのクイズを出題し、回答者にマイ箸や廃食油石鹸等の提供をした。マイ箸300膳、廃食油石鹸200本提供した	◎	減量対策課	◎
			95	ごみ減量・分別とリサイクルの推進を図るため、HP等を通して市民に対して具体的な方法を情報提供する	ごみ減量やリサイクルについての具体的な方法をHPに掲載する。また、ごみ排出状況についても随時掲載する ごみ減量やリサイクルについての具体的な方法をHPに掲載する。また、ごみ排出状況についても随時掲載する	ごみの分別やリサイクルの方法などを具体的にHPに掲載し、市民周知に努めた。また、市広報(7・8・9月号)により、ごみの減量とリサイクルの推進、及びごみの月別排出状況を掲載し情報提供に努めた 資源物分別イメージビデオの視聴提供やごみの分別・リサイクルの方法等HPを活用し、市民周知に努めている。また、市広報(10・11・12・1・2・3月号)により、ごみの減量とリサイクルの推進及び月別排出状況を掲載し情報提供に努めた	◎	清掃事業課	◎
									◎

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
			96	出前講座及びグリーン懇談会、イベント会場での啓発、市民からの照会対応実施	上期	出前講座及びグリーン懇談会、イベント会場での啓発 (2回) 市民からの照会対応を実施	町内会等の市民団体、幼稚園等において出前講座 (14回) 及び、グリーン懇談会 (2回) の計16回を行った。また、ecoライフ大作戦キックオフイベント、港まつり、樽前山フェスティバル参加により啓発活動を行った。市民から電子メールによる照会 (5件) について対応を行った	◎	清掃事業課	◎
					下期	出前講座及びグリーン懇談会、イベント会場での啓発 (2回) 市民からの照会対応を実施	市内スーパー等各店舗においてごみの分別及び資源化の促進に関する啓発活動・ごみの分別方法等説明を行った (計32回) また、市民からの電子メールによる照会 (2件) について対応を行った	◎		
			97	小学生等の子供向けに環境学習教材を提供してごみの排出抑制について学んでもらう。また子供向けに出前講座を実施する	上期	小学校副読本を小学生に配布して環境教育の教材として活用してもらおう。また、子どもがごみについてわかりやすい出前講座を実施する	小学校副読本を作成し、環境教育の教材として市民各小学校 (23校・2,005部) 及び、関係機関 (10ヶ所・140部) へ配付した。また、演劇による出前講座を計3回 (ecoライフ大作戦キックオフイベント・樽前山フェスティバル・のぞみ幼稚園 計196名参加) の実施により、環境教育の啓発を行った	◎	清掃事業課	◎
					下期	小学校副読本を環境教育の教材として活用してもらおう。また、子どもがごみについてわかりやすい出前講座を実施する	幼少期からの環境教育として小学生向け出前講座 (ゲーム形式) を実施 (計2回、112名参加) また各イベントで、子供たちを対象に053ファブによる啓発活動を行った (消費生活展・パネルディスカッション)	◎		
			98	現在乳幼児に多く使われている紙おむつについて、子育てに対する影響及び環境に対する配慮から布おむつの使用を促進する	上期	カウンター横に布オムツのグッズを展示し、毎日の母子手帳交付申請時に使用促進を呼びかける	窓口に来た来庁者に可能な限り布オムツのグッズを紹介し、使用を呼びかけた	○	健康支援課	○
					下期	カウンター横に布オムツのグッズを展示し、毎日の母子手帳交付申請時に使用促進を呼びかける	パパママ教室 (3回) で布オムツを使ってつけ方の練習を行い、赤ちゃん訪問、母親教室 (5月) 赤ちゃん教室 (8回) では布オムツグッズを紹介するなど使用促進を呼びかけた	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			99	ゴミを減らすために、窓口で発行する妊婦健診受診票を入れる封筒は、使用済封筒を利用する	上期	毎日窓口で発行される妊婦検診受診票を持ち帰る際に利用してもらう封筒は、使用済みの封筒にする	窓口や母親教室等の事業において使用済封筒を使用し、リサイクルを図った	◎	健康支援課	◎
					下期	毎日窓口で発行される妊婦検診受診票を持ち帰る際に利用してもらう封筒は、使用済みの封筒にする	窓口等において使用済み封筒を約880名に利用してもらった	◎		
事業者・消費者・行政の連携によりゴミ発生抑制を進める	◎：10目標 ○：2目標 一：0目標 ×：0目標	○	100	用品出納に係る業務について、用品単価表及び、伝票等の共通様式を庁内LANに掲示することにより、省資源化を進める	上期	用品単価表及び、伝票などの共通様式を庁内LANに掲示していることを周知徹底し、省資源化を進める	改正箇所があるときは、その都度庁内LANで周知をし、掲載している帳票類は全庁的に活用された	◎	会計課	◎
					下期	用品単価表及び、伝票などの共通様式を庁内LANに掲示していることを周知徹底し、省資源化を進める	上記と同じく用品単価改正があるときは庁内LANに掲載し省資源化に勤めた	◎		
			101	他部署からの合議文書について、写しの文書の保管方法を書類からデータファイルに切り替え、資源の節約を図る	上期	他部署からの合議文書をデータファイルに変換して保管し、用紙の節約を行う	合議文書について、データ化して保存、閲覧し、可能な限り印刷しないようにして用紙の節約をした	◎	人事研修課 給与厚生課	◎
					下期	他部署からの合議文書をデータファイルに変換して保管し、用紙の節約を行う	合議文書について、データ化して保存、閲覧し、可能な限り印刷しないようにして用紙の節約をした	◎		
			102	職員録について、印刷配布をせずに庁内LANへの掲載をし、資源の節約を図る	上期	職員録をデータファイルで作成して庁内LANに掲載し、用紙の節約を行う	平成21年度職員録について、6月1日版から毎月1回ずつデータファイルで作成し、庁内LANに掲載した	◎	人事研修課	◎
					下期	職員録の内容を更新する場合もデータファイルで作成して庁内LANに掲載し、用紙の節約を行う	職員録について、更新分を毎月1回ずつデータファイルで作成し、庁内LANに掲載した	◎		
			103	臨時職員任用事務に関し、文書の保管方法を書類からデータファイルに切り替え、資源の節約を図る	上期	平成21年度より、臨時職員任用関連書類のうち人事課保管分をデータファイルで保管し用紙の節約を行う	臨時職員任用関連書類をデータファイルで保管し、従来コピーを行っていた分の用紙の節約を行った	◎	人事研修課 給与厚生課	◎
					下期	臨時職員任用関連書類のうち人事課保管分をデータファイルで保管し、用紙の節約を行う	臨時職員任用関連書類をデータファイルで保管し、用紙を使用しないようにした	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			104	財務会計システムの導入により、予算作成時などに発生する印刷物の削減をすることにより、省エネ省資源を推進する	上期	平成21年度補正予算業務において、財務会計システムを軸にした業務の運用フローを確立し、それによりペーパーレス化を図る	財務会計システムと従来処理との並行稼働をしており、完全な実施には至らなかった	○	財政課	○
					下期	平成22年度予算編成業務において、財務会計システムを軸にした業務の運用フローを確立し、それによりペーパーレス化を図る	一部財務会計システム処理と従来処理が残る運用となり、完全な実施にはいたらなかった	○		
			105	公営住宅入居者等配布する修繕実施の通知文や入居マナーの啓発分書等は簡潔で分かり易い内容となるように配慮し紙類の使用数量の減少を図る	上期	随時、入居者に配布する修繕実施の通知文及び入居マナーの啓発分は簡潔で分かり易い内容とし紙類の使用数量の減少を図る	工事等のお知らせ文書は分かりやすい内容に改め、入居者に配布していたのを掲示板などで周知し、使用枚数を減らした	◎	住宅管理課	◎
					下期	随時、入居者に配布する修繕実施の通知文及び入居マナーの啓発分は簡潔で分かり易い内容とし紙類の使用数量の減少を図る	棟自治会に趣旨の理解が浸透し、各戸配布は減少した	◎		
			106	ごみを減らすために窓口などで渡す入居証明書や家賃証明書、入居許可証など配布時に使用していた封筒の削減を来庁者にPRしながら実施する	上期	窓口で申請者に交付する証明書等は申請者にゴミ発生の抑制の理解を得て、封筒を使用しないことを基本とする	証明書等は、封筒に入れずに渡した。どうしても必要な場合は使用済封筒を使用した	◎	住宅管理課	◎
					下期	窓口で申請者に交付する証明書等は申請者にゴミ発生の抑制の理解を得て、封筒を使用しないことを基本とする	来朝者の理解が得られトラブルの発生はなかった	◎		
			107	ノーレジ袋・マイバッグ持参運動の実施により、ごみ排出抑制のための市民・事業者・行政による事業の推進を図る	上期	市やスーパーの各種イベント等を通して、ノーレジ袋運動等により3Rの推進を図る	レジ袋削減に関する協定を締結した市内各スーパーと共に運動を推進した。定期的に辞退率、削減枚数の調査を実施した	◎	減量対策課	◎
					下期	市やスーパーの各種イベント等を通して、ノーレジ袋運動等により3Rの推進を図る	「第36回みんなの消費生活展」参加により、マイバッグの普及、およびレジ袋使用自粛の呼びかけを実施し「ノーレジ袋・マイバッグ持参運動」等の推進を図った	◎		
			108	消防関係機関及び消防団への通知等でメールを利用し、ファクスや紙使用を極力廃止する。また、行事開催通知における返信ハガキの廃止を検討する	上期	消防関係機関への通知等でメールを利用し、ファクスや紙使用を極力廃止するため協議する	他消防機関への文書での連絡調整をメールでの利用を行った。消防団各分団もメールに順次切り替えを図った	◎	消防本部総務課	◎
					下期	行事開催通知における返信ハガキの廃止を検討する	出初式で返信はがきを廃止した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			109	各学校への配布文書を極力電子メールで配信し、省エネ・省資源を促進する	上期	各学校への配布文書をスキャナー・ドキュワークス等を活用して極力電子メールで配信する	外部機関から学校数分の送付があった場合を除き、電子メールを活用した文書配信を徹底できた	◎	(教) 総務企画課	◎
					下期	各学校への配布文書をスキャナー・ドキュワークス等を活用して極力電子メールで配信する	上期と同様に極力電子メールの活用ができた	◎		
			110	選挙執行時には、リサイクル可能な物品を購入・使用するよう努める	上期	9月10日で任期が満了する衆議院総選挙執行時には、リサイクル可能な物品を購入・使用するよう努める	8月30日に執行された衆議院議員総選挙時に、ポスター掲示場の看板をリサイクル可能なものを使用した	○	選挙管理委員会事務局	○
					下期	選挙が執行された場合には、リサイクル可能な物品を購入・使用するよう努める	選挙の執行はなかった	○		
			111	現在大量に保存している監査関係書類の電子ファイル化を進め、ペーパーレス化をはかり無駄なOA用紙やファイルなどを使用しないようにする	上期	保存している監査関係書類の電子ファイル化を順次進めるとともに、保存必要書類を電子ファイル化することでOA用紙・ファイルの使用抑制に努める	上期分について、電子ファイル化を順次進めており実施できた	◎	監査委員事務局	◎
					下期	保存している監査関係書類の電子ファイル化を順次進めるとともに、保存必要書類を電子ファイル化することでOA用紙・ファイルの使用抑制に努める	下期分について、電子ファイル化を順次進めており実施できた	◎		

(施策) 物を大切に使うことにより、ゴミの発生を抑制する

自分で作ったり修理する楽しみを暮らしに取り入れ、物を大切にすることを実践する	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	112	自転車、家具等の手入れや修理方法などの知恵と技術を普及啓発するリサイクルプラザ講座を行う	上期	家具、自転車の修繕や手入れ方法の講習会を実施する	リサイクルプラザ講座開催について周知を行い、家具類の修理指導を毎月実施し、9名が参加した	◎	減量対策課	◎
					下期	家具、自転車の修繕や手入れ方法の講習会を実施する	リサイクルプラザ講座開催について周知を行い、家具類の修理指導を3月に実施し、1名が参加した	◎		
			113	大型ごみとして排出されたなかから、簡易な修繕、整備により再生した家具、自転車等の展示、販売事業をリサイクルプラザで行う	上期	再生品の展示、販売会を隔月(5・7・9月の計3回)で実施する	再生品の展示販売会を5、7、9月の計3回開催して、400点を販売した	◎	減量対策課	◎
					下期	再生品の展示、販売会を隔月(11・1・3月の計3回)で実施する	再生品の展示販売会を11月、1月、3月の計3回開催して、422点を販売した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) ゴミの分別を徹底し、再生利用 (リサイクル) による市場での循環を実現する

ゴミの分別の細分化と市場の形成により、ゴミが資源として循環する仕組みを実現する	◎：19目標 ○：1目標 ー：0目標 ×：0目標	○	114	コンポスト容器等の購入費助成を行う	上期	コンポスト (堆肥化容器) 等の購入費助成を行う	5月より広報とまこまい、ホームページ等により市民周知を行い、コンポスト93個、電動生ごみ処理機15台、EM密閉式容器180個の購入費助成を行った	◎	減量対策課	◎
					下期	コンポスト (堆肥化容器) 等の購入費助成を行う	上記において、21年度の予定数に達したため実施しなかった	◎		
			115	出前講座等により、密閉式堆肥化容器及びダンボールコンポストの適切な使用方法と堆肥の活用方法について普及を図る	上期	出前講座等の開催により、密閉式堆肥化容器及びダンボールコンポストの普及に努め、生ごみ減量の推進を図る	1回 (7月8日) の出前講座を開催し、1団体28名が参加。上期において3個のダンボールコンポストを配付。180個の密閉式容器を助成した	◎	減量対策課	◎
					下期	出前講座等の開催により、密閉式堆肥化容器及びダンボールコンポストの普及に努め、生ごみ減量の推進を図る	2回の出前講座 (10月6日、10月20日) を開催、2団体35名が参加、密閉式堆肥化容器等の普及に努め、生ごみの減量の推進を図った	◎		
			116	下水汚泥コンポスト化を実施する	上期	前年度までに引き続き、下水汚泥有効利用のためコンポストの生産に努める	今期間下水汚泥のコンポスト化を実施した	◎	勇払下水処理センター	◎
					下期	前年度までに引き続き、下水汚泥有効利用のためコンポストの生産に努める	今期間下水汚泥のコンポスト化を実施した	◎		
			117	資源の循環利用のため、下水汚泥を緑農地に還元する	上期	資源の循環利用のため、下水汚泥の緑農地還元、コンポスト化等に努める	汚泥肥料として適正な衛生加工を行い、農地利用を図っている (3,208t)	◎	西町下水処理センター	◎
					下期	資源の循環利用のため、下水汚泥の緑農地還元、コンポスト化等に努める	汚泥肥料として適正な衛生加工を行い、農地利用を図っている (2,912t)	◎		
			118	庁舎から発生するごみを適切に分別処理する	上期	庁舎から排出されるゴミのうち、資源化されている数量を月1回把握する	4月 3,050kg 5月 3,350kg 6月 2,660kg 7月 2,970kg 8月 4,620kg 9月 6,670kg	◎	総務部総務課	◎
					下期	庁舎から排出されるゴミのうち、資源化されている数量を月1回把握する	10月 5,450kg 11月 2,920kg 12月 3,200kg 1月 5,930kg 2月 2,020kg 3月 6,300kg	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
			119	主に法人から申告書とともに送付される添付文書（かがみなど）を適正に分別し再利用する	上期	ほぼ毎日提出される法人申告書等の添付書類を適正に分別し、書面を再利用する	毎日、適正に分別して再利用していた	◎	市民税課	◎
					下期	ほぼ毎日提出される法人申告書等の添付書類を適正に分別し、書面を再利用する	毎日、適正に分別して再利用していた	◎		
			120	納税課に送付される又納税課から送付する書類や封筒は税に関する個人情報が多いため、適正に分別し個人情報が記載されているものは古紙として、それ以外のもは裏紙などとして再利用する	上期	個人情報とは月2～3回、地下保管庫に搬出し古紙として再利用すると共に、それ以外の用紙で裏面利用が可能なものは専用箱で回収し再利用を図る	地下保管箱に設置してある専用箱に回収した。月2回程度実践した	◎	納税課	◎
					下期	個人情報は月2～3回、地下保管庫に搬出し古紙として再利用すると共に、それ以外の用紙で裏面利用が可能なものは専用箱で回収し再利用を図る	地下保管箱に設置してある専用箱に回収した。月2回程度実践した	◎		
			121	リサイクルを円滑に推進するため、市広報、クリーン懇談会等を通して、資源物の出し方等について周知徹底を図る	上期	広報とまこまいの掲載やクリーン懇談会等を通し周知徹底を図る	広報とまこまい5月号、7月号においてコンポの推進、生ごみの堆肥化についての啓発を行った。クリーン懇談会については、上期の出席はなかった	◎	減量対策課	◎
					下期	広報とまこまいの掲載やクリーン懇談会等を通し周知徹底を図る	広報とまこまい（11月号、1月号、3月号）において資源を有効利用するための記事を掲載。1月号では、古布・古着のリサイクルについての記事を掲載し市民への周知徹底を図った	◎		
			122	集団回収実施団体等関係団体との連携を強め、情報提供及び支援等により活動促進を図る	上期	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会事務局を担い、役員会・総会開催やニュース発行等の情報提供及び奨励金交付制度・リサイクルハウス設置助成等の支援などにより活動促進を図る	7月開催の苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会役員会に役員9名が参加。総会には44団体47名が出席した。奨励金交付制度については、21年度前期分の集計中。リサイクルハウス設置助成については、10件の応募があり、9月1日の抽選会で3団体決定した	◎	減量対策課	◎
					下期	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会事務局を担い、役員会・総会開催やニュース発行等の情報提供及び奨励金交付制度・リサイクルハウス設置助成等の支援などにより活動促進を図る	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会のリサイクル意識の高揚を目的に再資源化施設研修を予定した。（新型インフルエンザの流行により中止）また、「リサイクルニュース」を11月、2月に各団体に送付し、情報提供および活動推進を行った	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価	
			123	出前講座及びクリーン懇談会の場でイメージビデオを利用し周知、市民からの照会対応等による意識向上を図る。資源物品目拡大の検討と、試験的分別収集を実施する。また、割り箸リサイクル事業普及拡大を図る	上期 廃プラスチックの試験収集に併せて、資源物の分別イメージビデオを作成して市民周知に活用する。また、割り箸リサイクルを普及させる	市民啓発用「廃プラスチック及び資源物分別イメージビデオ」を作成し、住民懇談会等に活用した。(9月作成・計3回活用)また、各イベントにおいて使用済み割り箸の回収を実施し、普及に努めた。港まつり(回収量28kg・11,200本)・樽前サマフェスティバル(回収量30kg・12,000本)	◎	清掃事業課	
				下期 廃プラスチックの試験収集に併せて、資源物の分別イメージビデオを作成して市民周知に活用する。また、割り箸リサイクルを普及させる	廃プラスチック及び資源物分別イメージビデオを活用した。住民懇談会等を開催しプラスチックの資源化促進を図った。(計86回、3,269名参加)また、各イベントにおいて使用済み割り箸の回収を実施し普及に努めた。(スケート祭り参加。回収量15kg18,000本)廃プラスチック試験収集回収量(117.32トン)	◎	◎		
			124	小学生等の子供向けに環境面にも配慮した形での社会貢献事業や環境学習教材を提供して啓発する。子供向けに体験事業や出前講座を実施する。また、リユース促進PRのためフリーマーケットを実施する	上期 小学生副読本の活用により環境啓発を図る。また、ペットボトルキャップ回収事業、塵芥車の収集体験、フリーマーケットを実施する	ecoライフ大作戦キックオフイベント時にフリーマーケットを開催した。(参加団体50団体)樽前サマフェスティバルにおいては、「ごみ収集体験」を実施し、子供たちに環境啓発を行った(計106名参加)また、小学校等でのペットボトルキャップ回収事業を実施(回収量3,508kg)、小学校副読本については、5月に市内各小学校(計23校)に配付し、授業での活用体験を行った	◎	清掃事業課	◎
					下期 小学生副読本の活用により環境啓発を図る。また、ペットボトルキャップ回収事業、塵芥車の収集体験、フリーマーケットを実施する	ごみと地域との関わりについて小学生副読本による総合学習等授業での活用により幼少期からの環境教育の推進を図った。ペットボトルキャップ回収事業(年間回収量11,200kg)	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			125	ごみの分別を呼びかけ、ごみの減量化やリサイクルを促進する	上期	施設見学时等においてごみの分別・減量を呼びかけ、リサイクルを促進する	施設見学时および市民からの問い合わせ等の時に、実践していることが確認できた	◎	施設管理課	◎
					下期	施設見学时等においてごみの分別・減量を呼びかけ、リサイクルを促進する	施設見学时および市民からの問い合わせ等の時に、実践していることが確認できた	◎		
			126	ごみの分別を呼びかけ、ごみの減量化やリサイクルを促進する	上期	担当課と協力し、ごみの分別・減量を呼びかけリサイクルを促進する	市民からの問い合わせに対し、分別・減量を呼びかける他、必要に応じ担当課の協力を得て適切な対応を行った	◎	糸井清掃センター	◎
					下期	担当課と協力し、ごみの分別・減量を呼びかけリサイクルを促進する	各種問い合わせに対し、分別や減量を呼びかけたほか、必要に応じて各担当課の協力を得た上で適切な対応を行った	◎		
			127	ごみの分別・減量について関係保育施設に対し情報提供や呼びかけを行い、ごみ減量の取組やリサイクル運動の推進を促す	上期	ごみの分別・減量について園長会議等の際に随時情報提供・情報交換を行う	上期においては特に給食を調理する際の食材をいかに無駄なく利用するかについて意見交換がされた	◎	子育て支援課	◎
					下期	ごみの分別・減量について園長会議等の際に随時情報提供・情報交換を行う	手拭用のタオルペーパーを分別して回収し、トイレトペーパーに交換する取り組みを行った	◎		
			128	屋外でのイベントの実施時には、発生するゴミを適切に分別処理する	上期	水道週間（6月1日～7日）行事の一環として行う市民対象の上水道施設見学会（6月7日）で生じるゴミを分別処理する	雨天により施設見学会は中止となったが、施設一般開放に伴う浄水場説明会で生じたゴミを分別処理した	○	（上下水）総務課	○
					下期	予定なし	予定なし	○		
			129	屋外でのイベントの実施時には、発生するゴミを適切に分別処理するよう参加者に指導を徹底する 庁舎外施設（児童館・児童センター）においてもゴミの分別・資源リサイクルに取り組みを強化する	上期	8月上旬の「サマーキャンプ」でゴミの分別処理を実践するとともに、参加者に分別処理の大切さについて指導する	分別処理を実施するとともに、その大切さについても指導した	◎	青少年課	◎
					下期	1月上旬の「ウインターキャンプ」でゴミの分別処理を実践するとともに、参加者に分別処理の大切さについて指導する	分別処理を実施するとともに、その大切さについても指導した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価	
			130	廃プラスチック類等資源物対象品目拡大についての準備・検討を進める。また、その他資源として再利用できるものについて、資源化に向けた取組を行う	上期	容り法に基づく資源物品目拡大実施の準備・検討を行う。また、その他資源として古着・古布及び家庭系雑紙について、資源化に向けた取組を進める	廃プラスチック類中間処理業務委託の優先交渉権者の決定。平成22年度からの分別収集に向け準備を進めている。6月28日、9月13日と市内で開催されたフリーマーケット会場において、古布回収を行い390kg回収した。雑紙については、市内3カ所のモデル地区において回収、分析中	減量対策課	◎
					下期	容り法に基づく資源物品目拡大実施の準備・検討を行う。また、その他資源として古着・古布及び家庭系雑紙について、資源化に向けた取組を進める	廃プラスチック類中間処理業務委託の優先交渉権者との契約締結、業者との協議を進める。またフル布回収については10月より市内3箇所に拠点を設け1,865kgの古布をリサイクル業者に出荷。雑誌については拠点を2箇所増やし、市内5箇所のモデル地区において回収、分析中		
			131	トレイ等資源物の既存受け入れ団体の情報を広く周知し、ごみの資源化を推進する	上期	トレイ等資源物回収事業所、団体などとの協議を進める	ノーレジ袋、マイバック持参運動協力店舗に対し、5月に資源物店頭回収実績調査を実施した	減量対策課	◎
					下期	トレイ等資源物回収事業所、団体などとの協議を進める	上記実施の資源物店頭回収実績調査に基づき、実態調査を実施した		
			132	リサイクルプラザ展示販売会等を通し、再生品の利用促進のための啓発を行う	上期	再生品をリサイクルプラザ内に展示するとともに、販売会開催(5・7・9月の計3回)の周知を行う	再生品展示販売会開催について、HP、及び広報とまこまいを活用し周知した	減量対策課	◎
					下期	再生品をリサイクルプラザ内に展示するとともに、販売会開催(11・1・3月の計3回)の周知を行う	再生品展示販売開会際についてHPおよび広報とまこまい、店内電子掲示板を活用し周知した		
			133	工事請負業者に建設リサイクル法の周知と指導を行う	上期	工事の発注の際、現場発生材の再資源化に向けた分別、及び再生材の使用を周知する	10月20日工事係職員(4人)を点検及び職員から聴取したところ、工事請負業者に再資源に向けた周知と指導を行っていた	道路維持課	◎
					下期	工事の発注の際、現場発生材の再資源化に向けた分別、及び再生材の使用を周知する	工事係職員(3人)から聴取したところ、工事請負業者に再資源に向けた周知と指導が行われていた		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) 苫小牧地球温暖化対策地域推進計画に基づいて施策を展開する

市は、市民・事業者の地球温暖化対策活動を推進するための支援や、必要な仕組みを整備するほか、意識啓発、情報提供などを積極的に行ないます。(省エネルギーの推進、新エネルギーの導入、自動車利用の抑制、廃棄物の削減、緑化の推進、環境教育の推進)	◎：18目標 ○：4目標 —：0目標 ×：0目標	○	134	新車導入時は可能な範囲内で低公害車への切り替えを行う。低公害車の積極的な利用を促進するため、職員ポータルなどを活用しPRを実施する。	上期	低燃費・低排出ガス車5台(ライトバン2台、軽自動車3台)への切替を行う。低公害車の利用に関する啓蒙を図るため毎月1回、職員ポータルの電子掲示板で啓発する	計画した車両の切替は全て完了した。また、配車の際は低公害車を優先的に配車しており、稼働率は極めて高かった	◎	管財課		
					下期	低燃費・低排出ガス車5台(ライトバン2台、軽自動車3台)への切替を行う。低公害車の利用に関する啓蒙を図るため、毎月1回、職員ポータルの電子掲示板で啓発する	車両の切り替えはすべて上記において完了した。また、低公害車の歯医者率、稼働率は上記同様に極めて低かった	◎		◎	
			135	環境負荷の少ない車両や運転技術について、市民、事業者への情報提供や技術習得の機会を設ける	上期	環境負荷の少ない車両に関する情報をHPで紹介するほか、8月にエコドライブ講習会を開催する	当課HP(事業者向け環境情報)に当該情報へのリンクを掲載した。また、8月18日にエコドライブ講習会を開催し、12名の参加で平均15.6%の燃費向上効果があった	◎	環境保全課		◎
					下期	環境負荷の少ない車両に関する情報をHPで紹介するほか、エコドライブ講習会の結果を公表する	当課HP(事業者向け環境情報)に当該情報へのリンクを掲載した。また、8月に実施のエコドライブ講習会の結果を当課HPに掲載した	◎			
			136	公用自転車の積極的な利用を促進するため、職員ポータルなどを活用しPRを実施する	上期	公用自転車の利用に関する啓蒙を図るため、毎月1回職員ポータルの電子掲示板で啓発する。公用車の使用を希望する職員のうち、近距離使用の場合には公用自転車の利用を奨励する	公用車の近距離使用希望者に対し適宜公用自転車の利用を奨励した	○	管財課		○
					下期	公用自転車の利用に関する啓蒙を図るため、毎月1回職員ポータルの電子掲示板で啓発する。公用車の使用を希望する職員のうち、近距離使用の場合には公用自転車の利用を奨励する	上記に引き続き職場への声かけ等により公用自転車の利用促進に努めた	○			
			137	公共交通機関や自転車の利用促進に向け、市職員の率先行動を推進する	上期	職員向け「エコ通勤運動」を今年実施するとともに、6月を強化月間として取組を強化し、結果をHPに掲載する	6月1日～30日に環境月間エコ通勤を実施し結果を8月25日付でHPに掲載した。参加対象1,019人のエコ通勤率は、54.8%であった	◎	環境保全課		◎
					下期	職員向け「エコ通勤運動」を今年実施する	毎週水曜日をエコ通勤日とし庁内放送で、エコ通勤の実施を職員に呼びかけた	◎			

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			138	在苫外国人に対し苫小牧市内の公共交通機関を広く紹介し、結局的に利用してもらう	上期	新入学の外国人留学生に対し、学校を通じて利用の案内を行なう	苫小牧高専及び、駒澤大学新入学留学生に対し、学校を通して市営バスの利用案内を行った	◎	市民自治推進課	◎
					下期	在苫外国人が参加する交流会(3月)において、公共交通機関による来場を呼び掛ける他、紹介も行なう	3月に高等商業で行われた交流会において市営バスの紹介を行った	◎		
			139	省資源、省エネの観点から、口座振替を呼びかけ、利用の増進を図る	上期	4月当初納税通知書裏面及び封筒に口座振替の啓発を印刷、推進を呼びかけ口座振替推進に努める。相続関係届通知(6月・7月・8月)に伴う相談のほか各種届時に口座振替利用PRし、口座振替利用啓発に努める	4月10日当初納付書発送の封筒に口座振替利用推進の内容を印刷し、納通の説明部分にも口座の推進の内容を印刷、発送した6月26日、9月30日付発送の相続人関係届通知に伴う相続時等の機会に口座の推進に努めた	○	資産税課	○
					下期	相続関係届通知(9月・10月・11月)に伴う相談のほか各種届時に口座振替利用PR、口座振替利用啓発に努める	相続関係届通知(10月30日、12月18日、12月22日、1月18～19日、2月9日、2月23日)に伴う相続時等、機会をみて口座振替を勧めるよう勤めた	○		
			140	省資源、省エネの観点から、口座振替を呼びかけ、利用の促進を図る	上期	来庁者の納税相談を受けた場合及び臨戸訪問時において口座振替を呼びかけ、利用の促進を図る	納税相談時、及び臨戸訪問時に口座振替を呼びかけを行った	◎	納税課	◎
					下期	来庁者の納税相談を受けた場合及び臨戸訪問時において口座振替を呼びかけ、利用の促進を図る	納税相談時、及び臨戸訪問時に口座振替を呼びかけを行った	◎		
			141	町内会に対し街路灯の電気料を補助しているが、街路灯の更新は省エネタイプとするよう依頼する	上期	省エネタイプ街路灯の新設及び更新を50ヶ所で実施する	4月13灯、5月46灯、6月18灯、7月41灯、8月13灯、9月18灯、計149灯の省エネタイプ街路灯の新設、及び更新を実施した	◎	市民生活課	◎
					下期	省エネタイプ街路灯の新設及び更新を30ヶ所で実施する	10月15灯、11月11灯、12月9灯、1月7灯、2月2灯、3月23灯、計65灯の省エネタイプ街路灯の新設および更新を実施した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			142	省エネ・省資源の観点から住宅家賃等の口座振替を呼びかけ、利用の促進を図る	上期	新規及び既存入居者に口座振替を呼掛ける文章を印刷した住宅使用料等納入通知書を交付・配布する	口座振替へのご利用をすすめる文を納入通知書に印刷し、4月13日に約7,000部配布した	◎	住宅管理課	◎
					下期	新規入居者に口座振替を呼掛ける文章を印刷した住宅使用料等納入通知書を交付する	新規入居者約300人に配布した	◎		
			143	環境家計簿事業と連動しモニター事業を実施する。また、市民に向けてCO2削減PRを行う	上期	5月に募集し、6月～11月にモニター事業を実施する。また、活動状況を随時HP等でPRして普及を促す	33名のモニター参加により実施中。6～9月までのCO2削減効果を当課HPに掲載した	◎	環境保全課	◎
					下期	上期に引き続き、モニター事業を行う。1月に結果を集計、公表し効果を示す	11月に取り組みを終了し、期間を通して1人1日あたり444gのCO2の削減につながった。結果は12月に当課のHPに掲載した	◎		
			144	公共交通機関や自転車の利用促進に向け、高齢者への市営バス優待乗車証事業を行うほか、市職員の率先行動を推進する	上期	70歳以上の高齢者に対し市営バス優待乗車証を発行し、公共交通の利用促進を図るほか、職員の公共交通機関や徒歩、自転車通勤を促進する	平成21年9月末現在で、市営バス優待乗車証の利用者は638名(平成20年 686名)であり、利用の浸透は図られた。職員の公共交通機関の利用、徒歩、自転車通勤の割合は、11月27日で40%であり、更なる上積みを目指す	○	介護福祉課	○
					下期	70歳以上の高齢者に対し市営バス優待乗車証を発行し、公共交通の利用促進を図るほか、職員の公共交通機関や徒歩、自転車通勤を促進する	平成21年10月から平成22年3月までの市営バス優待乗車証の利用者は、629名(H20年667名)であり、利用の浸透は図られていた。また、職員の公共交通機関の利用、徒歩、自転車の割合は、3月末現在で、42.8%であり、上期より向上した	○		
			145	省資源、省エネの観点から口座振替を呼びかけ、利用の増進を図る	上期	手当の窓口支払者に対し、手当の年度更新(6月)の際に口座振替への変更を呼びかける	児童手当の支払先に「ゆうちょ口座」を指定できるようになったので、これを機に今後も呼びかけを続けていきたい	◎	子育て支援課	◎
					下期	保育料の年度更新(1月)の際に口座振替への変更を呼びかける	可能な範囲で口座振替への変更を呼びかけ、保護者の利便性と保育量の収納率の向上に努めた	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			146	省エネ・省資源の観点から口座振替を呼びかけ、利用の促進を図る	上期	毎月口座振替の件数を把握し、利用増進のための呼びかけをする	窓口支給から口座振替への指導した。保護世帯が急増する中で、窓口支給数は、抑制されていた（窓口支給件数別紙）	◎	生活支援第1課 生活支援第2課	◎
					下期	毎月口座振替の件数を把握し、利用増進のための呼びかけをする	保護需給世帯が急増する中、窓口支給の件数を抑制していた	◎		
			147	関係機関連携のもと、省エネ法の周知・指導・定期報告を行う	上期	建築確認申請時に設計者（代理者）を通じて建築主に同法の審査・指導及び助言を行い周知を図る。又建築主等に対して3年ごとの定期報告で建築物の省エネ性能に関する維持保全状況がチェックできる	建築基準法の申請に伴う省エネ法による届出は7件あり、省エネ基準に適合。定期報告書の提出は17件であった	◎	建築指導課	◎
					下期	建築確認申請時に設計者（代理者）を通じて建築主に同法の審査・指導及び助言を行い周知を図る。又建築主等に対して3年ごとの定期報告で建築物の省エネ性能に関する維持保全状況がチェックできる	建築基準法の申請に伴う省エネ法届出は4件ありました。定期報告書の提出は17件であった	◎		
			148	省資源、省エネの観点から、受益者負担金についての口座振替利用拡大を図る	上期	予定なし	予定なし	○	(上下水)総務課	○
					下期	受益者負担金にかかわる申告書送付時（2月）にあわせて、口座振替を促進する	2月5日受益者負担金申告書発送時に口座振替のPRをあわせて行った	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価	
			149	省エネ・省資源の観点から、口座振替の促進を図る。また、複数の水栓を使用している場合は納付書などを送付する際ひとつの封筒にまとめて送付することで、余計な封筒は使わない	①水道料金等の納入通知書「毎月2回郵送」や、給水装置新設等のメーター器確認時に投函する届出等の啓蒙・啓発文書「年間10,000枚投函」を活用し、口座振替の利用の促進を図る ②各検期において送付する納付書は、同一人に対する請求についてはまとめて送付し封筒の節約に努める	①口座の利用促進により、新規分として「660件」利用があった ②定例検針納付書において、「約11,400件」が複数の水栓使用者であり、余計な封筒の節約に努めた	◎	(上下水) 営業課	◎
					①水道料金等の納入通知書「毎月2回郵送」や、給水装置新設等のメーター器確認時に投函する届出等の啓蒙・啓発文書「年間10,000枚投函」を活用し、口座振替の利用の促進を図る ②各検期において送付する納付書は、同一人に対する請求についてはまとめて送付し封筒の節約に努める	①自主納付者に対して新規講座利用の促進を図った。(13,375件に対して利用促進) ②下記も同様複数栓使用者に対して請求をまとめて送付した	◎		
			150	ガソリンの使用抑制、大気汚染防止の観点から、各学校への配布資料を宅急便を使用して配布することにより、学校職員の車での外勤回数を抑制する	各学校への配布資料を極力宅急便を使用して配布する	運送会社と契約を結び、週に2回市教委と学校間でメール便を往来させた	◎	(教) 総務企画課	◎
					各学校への配布資料を極力宅急便を使用して配布する	上期と同様に週2回宅急便を活用した文書配布を実施した	◎		
			151	省エネ・省資源の観点から口座振替を呼びかけ、利用の促進を図る	学校評議員等口座振替をさらに呼びかけ、可能な限り口座振替による取扱いを進める	口座振替による取扱いは、ほぼ達成できていた	◎	学校教育課	◎
					学校評議員等口座振替をさらに呼びかけ、可能な限り口座振替による取扱いを進める	計画通り講座振替推進が行われた	◎		
			152	産官学民の連携により、天然ガスの利用促進について検討を行う	「北海道天然ガス利用促進協議会」・「苫小牧天然ガス利用促進協議会」へ年1回以上の参加・協力の実施	今期間は、協議会主催の事業がなく、参加・協力が出来なかった	○	工業労政課	○
					「北海道天然ガス利用促進協議会」・「苫小牧天然ガス利用促進協議会」へ年1回以上の参加・協力の実施	今期は、協議会主催の事業がなく参加協力が出来なかった。「苫小牧天然ガス利用促進協議会」は、平成22年3月31日で解散となった	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
			153	・国や団体が実施している支援制度のPRと共に、市民・事業者からの各種相談の対応を行う ・苫小牧市独自の支援制度の検討を行う	上期	国や団体が実施しているセミナー・説明会に年1回以上参加して情報収集し、市民や事業者からの相談があった場合の対応や、支援制度の検討を行う	8月20日、9月24日、苫小牧ガス(株)、苫小牧地方石油業共同組合、苫小牧商工会議所の3者から天然ガススタンドに関する要請を受ける	◎	工業労政課	◎
					下期	国や団体が実施しているセミナー・説明会に年1回以上参加して情報収集し、市民や事業者からの相談があった場合の対応や、支援制度の検討を行う	2月5日天然ガスの今後の見通しについて石油資源開発(株)より説明を受けた	◎		
			154	・国や団体が実施している支援制度のPRと共に、市民・事業者からの各種相談の対応を行う ・苫小牧市独自の支援制度の検討を行う	上期	国や団体が実施しているセミナー・説明会に年1回以上参加して情報収集し、市民や事業者からの相談があった場合の対応や、支援制度の検討を行う	8月27日胆振地方主催の木質ペレット利活用研究会に参加、情報交換を行った(14名)	◎	工業労政課	◎
					下期	国や団体が実施しているセミナー・説明会に年1回以上参加して情報収集し、市民や事業者からの相談があった場合の対応や、支援制度の検討を行う	2月22日木質ペレット製造工場を見学し、利用拡大に向けた取組の説明を受けた	◎		
			155	住宅への自然エネルギー普及を考慮に入れた、住宅耐震・リフォーム支援事業(利子補給)のPRを行う	上期	リフォーム支援事業対象者へその都度周知を行う	広報、新聞等で住宅リフォーム支援事業について周知を行った。住宅への自然エネルギーを取り入れた太陽光発電等の融資はなかった	◎	建築指導課	◎
					下期	リフォーム支援事業対象者へその都度周知を行う	広報新聞等で住宅リフォーム支援事業について周知を行った。住宅への自然エネルギーを取り入れた太陽光発電等の融資は1件あった	◎		

(施策)健康に配慮した安全な食材の確保

近隣市町を含めた産地と消費地の交流システムを構築し、有機栽培、旬の食材など安全な食材の積極的な利用を図る	◎:4目標 ○:3目標 —:0目標 ×:0目標	○	156	関係行政機関や農協、地元スーパーなどとの連携・協力により、「北のクリーン農業」の推進とともに、クリーン農産物の流通を促進する	上期	広域的農協主催の農業振興対策協議会への参加	5月12日、厚真町のJA本所で開催された農業振興対策協議会、及グリーン農業推進協議会に出席した。JA事業計画、各町村の農業政策などについて、意見交換を行った	◎	農業水産課	○
					下期	実施予定なし	実施なし	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			157	遊休農地を解消し農産物生産に利活用するため、耕作放棄地解消対策事業を推進する	上期	耕作放棄地実態調査を行い、地域協議会を開催して、解消計画について検討する	今期間中に実態調査は実施されなかった	○	農業水産課	○
					下期	耕作放棄地実態調査を行い、地域協議会を開催して、解消計画について検討する	11月10日、11日にパトロール調査により現況調査を行った	○		
			158	農業担い手を育成・支援し地域農業の振興を図るため、農業担い手対策推進事業を実施する	上期	北海道担い手育成総合支援協議会による収納支援事業に協力していく	6月12日開催の担い手育成総合支援協議会研修会に出席した。今年度の担い手支援事業等について説明を受けた	◎	農業水産課	◎
					下期	北海道担い手育成総合支援協議会による収納支援事業に協力していく	2月24、25日に開催された北海道にないて育成総合支援協議会主催の事例発表会、研修会に参加し平成22年度の担い手支援事業の説明を受けた	◎		
			159	地場産品の情報提供等を目的とする、苫小牧ホッキフェスタや、広域農協主催の農業フェアへの後援を行う	上期	JAが8月に開催予定の農業フェアへの後援を行う	8月30日、若草町中央公園で実施された第9回農業フェアを後援し、胆振東部の農水産物について、地産地消を推進した	◎	農業水産課	◎
					下期	実行委員会により11月に開催予定のホッキフェスタへの後援を行う	11月1日に開催のホッキフェスタへの後援を実施した	◎		
			160	苫小牧市の貝に制定している「苫小牧産ほっき貝」のブランド化の推進を図る	上期	課のHPによる情報発信やPRのための関係機関との会合・事業等へ積極的に参加する	当課のHPをリニューアルするなど情報発信に努めた	◎	農業水産課	◎
					下期	課のHPによる情報発信やPRのための関係機関との会合・事業等へ積極的に参加する	道の駅「ウトナイ湖」で漁協所西部が実施したホッキ貝販売矢PR事業などのイベントに協力した	◎		
			161	「ふるさと農園事業」の推進とともに、学習体験の場として、学校や町内会への優先開放を行う	上期	市民の農業体験の場として実施するとともに、特に高齢者、子ども会を優先して区画割り当てを行う	宮前、拓勇、沼ノ端地区3ヶ所のふるさと農園について、4月に利用募集し、区画の決定を行った。273区画に対し、298人の申し込みがあり、このうち高齢者164人、幼稚園など4団体に優先的に割り当てを行った	◎	農業水産課	◎
					下期	閉園までの機関、有効な利用を利用者に働きかける	農園利用者により11月末まで有効に利用された	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況		担当課	評価
			162	遊休農地の実態把握を行い、体験農園としての活用実現可能性の検討を行う	上期	耕作放棄地実態調査に併せて実態把握を行う	今期間中に実態調査は実施されなかった	○	農業水産課	○
					下期	耕作放棄地実態調査に併せて実態把握を行う	今期間中に実態調査は実施されなかった	○		

(施策) 人の健康と生活環境を守る適正な対策を進める

有害と疑われる物質の利用・排出の削減を図り、適正管理する	◎：4目標 ○：2目標 一：0目標 ×：0目標	○	163	有害大気汚染物質による大気汚染の状況把握のため調査を実施し公表する	上期	環境基準等設定項目について毎月調査し、市環境白書等で公表する	環境基準等設定項目（14項目）について調査し、結果は全て問題なく、平成22年版環境白書等で公表の予定である	◎	環境保全課	◎
					下期	環境基準等設定項目について毎月調査し、市環境白書等で公表する	環境基準等設定項目（14項目）について調査し、結果はすべて問題なく、結果を市HPで公表した	◎		
			164	アスベストを使用している市有施設について、管理状況の調査・把握を行う	上期	露出吹付けアスベスト施設について目視等による点検の他、必要に応じ含有率、濃度調査を実施する。また、調査結果を市HPにて公表する	現在未対策の4施設について、2施設の除去、及び2施設の目視点検を下期に実施し、さらにその結果を基に濃度調査を実施する予定である	○	環境保全課	○
					下期	露出吹付けアスベスト施設について目視等による点検の他、必要に応じ含有率、濃度調査を実施する。また、調査結果を市HPにて公表する	全ての露出吹付けアスベスト施設の対策を行った。この結果を市HPで公表した	◎		
			165	消火訓練にて、油を燃焼させ煙が発生する粉末消火器による訓練を見直し、水消火器や模擬消火訓練用の資機材を活用し環境面に配慮する	上期	10月に行なう消火訓練で粉末消火器の使用を見直し、水消火器や模擬消火訓練用の資機材を活用し環境面に配慮する	5月28日に実施の避難訓練と合わせて実施した	◎	施設管理課	◎
					下期	10月に行なう消火訓練で粉末消火器の使用を見直し、水消火器や模擬消火訓練用の資機材を活用し環境面に配慮する	11月10日に実施の避難訓練と合わせて実施した	◎		
			166	消火訓練において、油を燃焼させ煙が発生する粉末消火器による訓練を見直し、水消火器や模擬消火訓練用の資機材を活用して環境面に配慮する	上期	(消火訓練は上期なし)	下期予定を上期に実施し、水消火器を用い、環境面に対し、十分に配慮する内容で行った	◎	糸井清掃センター	○
					下期	消火訓練では環境面に配慮した資機材を活用する	消火訓練を上期に行ったため、実施しなかった	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況									
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価				
			167	関係機関連帯のもと、シックハウスの未然に防止するための対策を行う	上期	建築確認申請時に設計者（代理者）を通じて建築主にシックハウスの原因となる化学物質の室内濃度を下げるため、建築物に使用する建材や換気設備に関して法に基づく規制・指導を行う	確認申請等に「化学物質に対する衛生上の措置チェックリスト」を添付し、法に基づく規制指導を行い完了検査時にも確認指導した	建築指導課	◎			
					下期	建築確認申請時に設計者（代理者）を通じて建築主にシックハウスの原因となる化学物質の室内濃度を下げるため、建築物に使用する建材や換気設備に関して法に基づく規制・指導を行う	確認申請時に「化学物質に対する衛生上の措置チェックリスト」を添付し、法に基づく規制指導を行い完了検査時にも確認指導した					
			168	事業所等を対象とした消火訓練では、油を燃焼させ煙が発生する従来の粉末消火器による訓練を見直し、水消火器や模擬消火訓練用の資機材を活用する方法に変更して環境面に配慮する	上期	訓練通知書を提出された際には、都度、水消火器等による消火訓練の実施で環境面に配慮してもらおうよう依頼する	今期間中の事業所から要請のあった消火訓練は、すべて水消火器を使用して実施した	消防本部予防課	◎			
					下期	訓練通知書を提出された際には、都度、水消火器等による消火訓練の実施で環境面に配慮してもらおうよう依頼する	事業所等から要請のあった消火訓練は、全て水消火器を使用して実施した。また、事業所単独で実施する消火訓練も水消火器を使用するよう指導した					
			安全・安心な環境を未来世代に継承する	◎：0目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	169	市民も参加する企業立地審議会において、市民の意見を取り入れながら、調査審議を行う	上期	条例に該当する工場等の新增築がある場合、市民も参加する審議会において調査審議を行う	当期間に方針の見直しはなかった	企業立地課	○
								下期	条例に該当する工場等の新增築がある場合、市民も参加する審議会において調査審議を行う	同上		

(施策) 公害のない安心できる暮らしの創造

様々な公害に対する基準等の遵守はもとより、自主基準による抑制対策を講じる	◎：4目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	170	新規に協定を締結又は改定の際、関係機関との連携及び事業者との協議のもと、新たな規制物質の追加等の検討を行う	上期	協定改定及び新規締結の都度、新たな規制物質の追加等の検討を行う	必要な協定値を盛り込んで1社と新規に締結した	環境保全課	◎
					下期	協定改定及び新規締結の都度、新たな規制物質の追加等の検討を行う	平成21年12月1社と協定改定があったが、新たな規制物質の追加はなかった		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
			171	関係機関との連携のもと、各発生源や一般環境の監視と、関係法、条例に基づく指導を行う	上期	【大気】協定立入・大防法立入に際しては、道・市町と連携して実施。一般環境については、市内10局で年間測定計画に沿って実施する 【騒音】定期又は必要に応じ調査を行い、状況悪化等の問題がある場合には関係機関、発生源者等に対策を要請する。定期に行う調査についてはHPにて公表する	○大気：公害防止協定企業15社に対し、道及び関係市町と立入調査を実施した。一般環境については、市内10局で常時監視を実施した ○騒音：一般環境騒音の調査を市内6カ所で実施した	環境保全課	◎	
					下期	【大気】協定立入・大防法立入に際しては、道・市町と連携して実施。一般環境については、市内10局で年間測定計画に沿って実施する 【騒音】定期又は必要に応じ調査を行い、状況悪化等の問題がある場合には関係機関、発生源者等に対策を要請する。定期に行う調査についてはHPにて公表する	○大気：大防法立ち入り調査を39事業所で実施した。一般環境については、市内10局で常時監視を実施した ○騒音：測定結果は6カ所すべてで環境基準に適合していた。結果はHPで公表した			
			172	自動車騒音状況の悪化や苦情発生等がある場合、関係機関への働きかけを行う	上期	調査を行い、結果をHP、環境白書にて公表する。状況悪化や苦情があった際には、必要に応じ道路管理者に対策を要請する	8月から10月まで市内の主要道路9カ所で自動車騒音状況を調査した。結果は下期にまとめる。なお、自動車騒音に関する苦情はなかった	◎	環境保全課	◎
					下期	調査を行い、結果をHP、環境白書にて公表する。状況悪化や苦情があった際には、必要に応じ道路管理者に対策を要請する	測定結果は9箇所のうち4箇所環境基準を超えていたが、要請限度内であった。結果は市HPで公表するとともに道路管理者、道、市の関係部局へ周知した	◎		
			173	関係機関との連携協力のもと、市内主要道路の低騒音舗装を計画的に進める	上期	請負業者との連携のもと道路工事では排出ガス対策型建設機械・低騒音型建設機械を使うことを促す	各現場において適切に行われていた	◎	道路建設課	◎
					下期	請負業者との連携のもと道路工事では排出ガス対策型建設機械・低騒音型建設機械を使うことを促す	各現場において適切に行われていた	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価
			174	苫小牧市企業立地審議会条例に基づき、同審議会において審議を行う	上期 条例に該当する工場等の新增築がある場合、市民も参加する審議会において調査審議を行う	当期間に方針の見直しはなかった	○	企業立地課	○
					下期 条例に該当する工場等の新增築がある場合、市民も参加する審議会において調査審議を行う	同上	○		

(施策) だれもが安心して暮らせるまちづくり

誰もが安心して生活できるように、バリアフリーの考えに基づいて生活空間を整備する	◎：2目標 ○：3目標 —：0目標 ×：0目標	○	175	介護認定を受けている世帯が手すりの取付けや段差解消のためのスロープ設置、滑り止めのための床在変更等の小規模な住宅改修について、費用の一部を支給するサービスを実施	上期	介護認定を受けている世帯の手すりやスロープ設置などの住宅改修に要する費用に対し、申請に基づき助成を行う	住宅改修助成件数は、平成21年9月末現在で364件（平成20年276件）で増加傾向であった	◎	介護支援課	◎
					下期	介護認定を受けている世帯の手すりやスロープ設置などの住宅改修に要する費用に対し、申請に基づき助成を行う	住宅改修助成件数は、今年度下期において、313件（平成20年276件）で増加傾向である	◎		
			176	バリアフリー整備の際、事前に障害者等関係者から意見を聴取する。また、バリアフリーに関する情報を広く提供する	上期	要望や相談の受付とともに、施設整備の際、必要に応じて意見聴取を行なう	上期バリアフリー整備の完成実績はなかった	○	社会福祉課	○
					下期	要望や相談の受付とともに、施設整備の際、必要に応じて意見聴取を行なう	苫小牧市福祉のまちづくり推進会議において現地での概要説明や会議において意見等を反映させた	◎		
			177	市営住宅整備の際には、可能な限り障がい者用専用住宅やバリアフリー型住宅の整備に努める	上期	明徳団地9号棟のバリアフリー型住宅24戸（うち車椅子専用住宅2戸）を6月までに完成させる	6月30日に進捗状況を確認したところ、バリアフリー型住宅を完成させることができた	◎	住宅計画課	◎
					下期	明徳団地10号棟のバリアフリー型住宅24戸（うち車椅子専用住宅2戸）の建設に着工し、整備を進める	明徳団地10号棟の進捗状況は、3月末時点では、計画どおりの進捗であった	◎		
			178	「福祉のまちづくり推進計画」に基づき公共施設バリアフリー化事業を実施する	上期	前年度のバリアフリー事業実績および推進計画の主旨を広報紙に掲載する	下期において、今年度実績を含めて掲載する予定である	○	社会福祉課	○
					下期	公共施設バリアフリー化事業の実施及び次年度事業を検討する	21年度バリアフリー化事業を実施した。22年度についてはトイレの洋式化・点字ブロックの施設などを予算化した。なお21年度のバリアフリー化については広報2月号に掲載した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			179	「道路の構造基準」によりバリアフリーを考慮した整備を推進する	上期	歩道整備時には、勾配を可能な範囲内で緩やかにすることで、歩きやすい歩道を心がける	上期には、対象路線がなかった(工事中)	○	道路建設課	○
					下期	歩道整備時には、勾配を可能な範囲内で緩やかにすることで、歩きやすい歩道を心がける	各現場において、適切に行われた(2路線で実施)	◎		
過去の教訓を活かし、災害に強い街づくりを進める	◎：3目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	180	自主防災組織に対する研修会、出前講座の実施、助成金の交付を行う	上期	4月に自主防災組織活動助成金の案内、受付を行う。随時、出前講座を実施する	自主防組織に対し、助成金の案内受付を行った。出前講座を2回500名を対象に行った	○	危機管理室	○
					下期	自主防災組織活動助成金の受付、交付を行う。随時、出前講座を実施する。市民防災講座を開催する	自主防災組織活動助成金の交付を行った。出前講座を11回436名に対し行った。2月1日～3日に市民防災講座を開催した(65名参加)	◎		
			181	関係部署連携のもと、一時避難場所、広域避難地、防災拠点となる公園の整備を計画的に進める	上期	日の出公園の整備実施の他、街区公園7箇所の再整備を実施する	予定どおり実施中	◎	緑地公園課	◎
					下期	日の出公園の整備実施の他、街区公園7箇所の再整備を実施する	予定通り実施した	◎		
			182	災害時における救命率向上のため、一般市民や事業所等を対象とした救命講習会を実施する	上期	普通救命講習会を毎月1回実施する。また、事業所等の要請に応じて一般救急講習会を実施する	普通救命講習会を毎月(計6回)実施し、163名受講した。また、事業所に対して一般救急講習会を計28回実施し、551名が受講した	◎	消防本部警防課	◎
					下期	普通救命講習会を毎月1回実施する。また、事業所等の要請に応じて一般救急講習会を実施する	普通救命講習会を毎月(計5回)実施し、104名受講した。また、事業所に対して一般救急講習会を計61回実施し、1094名が受講した	◎		
			183	十勝沖地震の教訓を踏まえ、多数の危険物施設を所有する特定事業所に対し防災体制の充実を図るよう指導を行う	上期	特定事業所に対して立入検査を実施し、諸法令に基づく適正な維持管理及び防災体制の整備充実を指導する	6月8日～12日に4事業所(105施設)及び9月4日～25日に6事業所(336施設)の立入検査を実施し、施設の適正な維持管理防災体制について確認し、今後の取り組みを指導した	◎	消防本部保安課	◎
					下期	特定事業所に対して立入検査を実施し、諸法令に基づく適正な維持管理及び防災体制の整備充実を指導する	10月7日及び14日に3事業所(57施設)の立入検査を実施し、防災指導を行っている	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) 環境のことを考えた消費行動の促進

消費者への正しい情報、学習機会の提供	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	184	物品購入にあたっては、環境に配慮した物品を購入するように指導、アドバイスする	上期	各課からの物品購入依頼時に環境に配慮した物品購入について啓発していく	グリーン購入の意識が高くなってきている	◎	契約課	◎
					下期	各課からの物品購入依頼時に環境に配慮した物品購入について啓発していく	上記と同様にグリーン商品の購入の意識が高くなってきている	◎		

(施策) 歴史的たたずまいを保全し、新たな活用を組み込んだ景観づくり

苦小牧らしい個性を感じさせる都市景観を市民参加のもとで形成する	◎：1目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	185	苦小牧市の景観資源について、市民から情報収集を行い、今後の都市景観づくりの基礎資料とする	上期	HP等の「景観情報コーナー」を活用し、景観に関する情報収集を行う	まちづくり推進課HPに掲載し情報収集を行っている。平成21年度はHPを刷新・収集は継続した	◎	まちづくり推進課	○
					下期	HP等の「景観情報コーナー」を活用し、景観に関する情報収集を行う	街づくり推進課HPに継続掲載し情報収集を行っている。平成21年度における情報はなかった	○		
			186	出前講座・研修会等の実施において環境教育の推進に努める	上期	前年度に収集した学習情報を4月1日発行の生涯学習便りで、市民に情報の提供を行う	4月1日発行の生涯学習だよりには、20施設143講座の案内を掲載。その他として出前講座79講座をはじめとして8件を掲載し市民への情報提供を行った	◎	生涯学習推進課	◎
					下期	上期に収集した学習情報を10月1日発行の生涯学習便りで、市民に情報の提供を行う	8月1日発行の生涯学習だよりには、18施設130講座の案内を掲載。その他として博物館企画展、新人音楽祭の開催など17件の掲載を行い情報提供を行った	◎		

(施策) 地域に根ざした建物を大切にし、人の暮らしの似合うまちを創造する

市民参加のもとで、うらおい・やすらぎの感じられる景観づくりを進める	◎：0目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	187	自然や街並みなど、苦小牧市の有する景観を都市計画課HPで紹介することにより、景観に対する意識の向上を図る	上期	市内の主要な景観ポイントの撮影等景観に関する資料収集を行う	HP刷新により、景観ポイントを一部紹介。景観に対する意識向上を図った	◎	まちづくり推進課	○
					下期	景観ポイントの更新を行い、市民の景観に対する意識向上を図る	HPで景観ポイントの一部紹介を継続し景観に対する意識向上を図った	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価	
(施策) 産官学民の連携により循環型社会を構築する									
さまざまな連携よりゼロエミッションを進める	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	188	建設リサイクル法による届出の周知と指導を行う	広報とまこまい4月号で同法の周知を図る。同法による全国一斉パトロールを5月中頃に実施し適正に分別解体しているか指導を行う	10月14日に実施したパトロールで27件の解体等の現場における違反はなかった。また、週2回の完了検査業務とあわせてパトロールも行った	◎	建築指導課	◎
					広報とまこまい9月号で同法の周知を図る。同法による全国一斉パトロールを10月頃に実施し適正に分別解体しているか指導を行う	10月14日に実施したパトロールで27件の買い台頭の現場における違反はなかった。また、パトロールも行った			
			189	環境保全活動に関する助成など支援制度の情報を収集し、提供を行う	環境保全活動に関する助成制度等の情報をHPで紹介する	当課HP(事業者向け環境情報)に当該情報へのリンクを掲載した	◎	環境保全課	◎
					環境保全活動に関する助成制度等の情報をHPで紹介する	当課HP(事業者向け環境情報)に当該情報へのリンクを掲載した	◎		
苫小牧と周辺地域を含めた、生産者と流通業者、消費者、行政による、広域地産地消を推進する	◎：3目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	190	地場生産物や技術利用促進のため、産官学民による連携体制を整備する	「苫小牧地域ものづくり産業振興のための産学官金連携」「次世代型グリーンビジネス道央ベルト構築事業」への年1回以上の参加協力を行う	産学官連携講演会に参加した(3名)(7月8日 全体100名)	◎	工業労政課	◎
					「苫小牧地域ものづくり産業振興のための産学官金連携」「次世代型グリーンビジネス道央ベルト構築事業」への年1回以上の参加協力を行う	2月3日産学官金連携講演会ものづくり企業セミナーに参加した(2名)(全体50名)			
			191	地場の生産物の情報収集を行い、広く発信する	市の貝化を推進し、広く地場生産物の情報発信を行なう。漁協青年・女性部が漁港区で実施する水産物即売会を支援する	9月26日に開催された漁協青年部、女性部の水産物即売会に対し、会場設営作業に参加するなど人的支援を行った	◎	農業水産課	◎
						11月に開催されるホッキフェスタに後援する	11月1日漁港区で開催されたホッキフェスタを後援し苫小牧のホッキ貝を道内外へ広く発信した		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			192	地場生産物や技術利用促進のため産官学民による連携体制を整備する	上期	北海道や魚組、農協主催で関連する会議に参加するとともに、可能な範囲で事業協力を行う	農業改良普及センター主催の下記の会議に出席し、地域における農業技術の支援について意見交換を行った。6月18日：東胆振農業施策会議、7月23日：東胆振農業活性化推進会議	◎	農業水産課	◎
					下期	北海道や魚組、農協主催で関連する会議に参加するとともに、可能な範囲で事業協力を行う	以下の関連する会議に出席し意見調査を行った。10月20日、いぶり農業共済家畜事業推進協議会 11月24日、第3回農業総合研修会 (JA苫小牧)、11月26日、農業振興対策協議会 (JA苫小牧)	◎		
			193	地場の生産物や技術の情報収集を行い、広く発信する	上期	実施予定なし	なし	○	工業労政課	○
					下期	「企業データブック (建設業等)」・「企業組合等の概況」作成 (3月下旬)	企業データブック (建設業等)・協同組合等の概況を作成した	◎		

(施策) 環境負荷の少ないエネルギーへの転換を進める

太陽光や風力などの自然エネルギーや、天然ガスの利用促進を図る	◎：3目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	194	国や団体が実施している支援制度のPRと共に、市民・事業者からの各種相談の対応を行う	上期	国や団体が実施しているセミナー・説明会に年1回以上参加して情報収集し、市民や事業者からの相談のあった場合の対応や、支援制度の検討を行う	6月24日民間企業 (エアウォーター株) 開催の太陽光発電説明会参加した (3名)	◎	工業労政課	◎
					下期	国や団体が実施しているセミナー・説明会に年1回以上参加して情報収集し、市民や事業者からの相談のあった場合の対応や、支援制度の検討を行う	2月2日ペレットストーブを利用している飲食店を訪問 (2点) し調査した	◎		
			195	市民、市内事業者に対し、新エネルギーや効率的なエネルギー使用の普及に向けた情報を提供するとともに、自然エネルギー普及のため支援を行う	上期	ペレットストーブの助成を行う。また、新エネルギー使用についての情報をHPで紹介する	ペレットストーブ10件、及び太陽光発電システム5件の助成を募集した。また、当課HP (事業者向け環境情報) に当該情報へのリンクを掲載した	◎	環境保全課	◎
					下期	ペレットストーブの助成を行う。また、新エネルギー使用についての情報をHPで紹介する	ペレットストーブ10件、及び太陽光発電システム5件に助成をした。また、当課HP (事業者向け環境情報) に当該情報へのリンクを掲載した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			196	下水汚泥処理過程で発生する消化ガス(メタンガス)をガス発電設備の燃料として利用する。またこのことを先進事例として広く紹介する	上期	消化ガス(メタンガス)をガス発電設備の燃料として積極的に利用し、このことを先進事例として広く紹介する	消化ガス(メタンガス)により発電し、このことを広く紹介した	◎	西町下水処理センター	◎
					下期	消化ガス(メタンガス)をガス発電設備の燃料として積極的に利用し、このことを先進事例として広く紹介する	消化ガス(メタンガス)により発電し、このことを広く紹介した	◎		
地域特性にあったエネルギーやエネルギーの効率的な利用についての研究、開発を産官学民の協力で進める	◎:2目標 ○:0目標 一:0目標 ×:0目標	◎	197	市役所内部の推進体制を整備し、地域新エネルギービジョンの具体的推進を図る	上期	苫小牧自然エネルギー研究会との懇談会を1回実施する	今期間、懇談会は実施出来なかったが、4月19日開催のecoライフ大作戦キックオフイベントの廃プラ油化体験の件で、事務局長と打ち合わせを行った	◎	工業労政課	◎
					下期	新エネルギー利用促進連絡会議の開催を随時行う	2月5日「新エネルギー利用促進連絡会議」を開催し、各課の新エネルギー促進に関する取組を話し合った	◎		
			198	廃食用油などを原料とするBDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)をガス発電設備の補助燃料として利用する。またこのことを先進事例として広く紹介する	上期	BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)をガス発電設備の補助燃料として積極的に利用し、このことを先進事例として広く紹介する	BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)を補助燃料として積極的に利用し、このことを広く紹介している	◎	西町下水処理センター	◎
					下期	BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)をガス発電設備の補助燃料として積極的に利用し、このことを先進事例として広く紹介する	BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)を補助燃料として積極的に利用し、このことを広く紹介している	◎		

(施策) 地場の技術を集積した環境産業の育成・振興

地場技術の集積により環境保全に貢献できる技術を開発し、広く発信する	◎:1目標 ○:1目標 一:0目標 ×:0目標	○	199	地場技術の情報を把握し、PRを行う	上期	実施予定なし	実施しなかった	○	工業労政課	○
					下期	「企業データブック(建設業等)」・「企業組合等の概況」作成(3月下旬)	企業データブック(建設業等)・協同組合等の概況を作成した	◎		
			200	テクノセンターや高専など、研究受入施設や相談体制の情報を広く発信する	上期	「苫小牧テクノセンターニュース」の発行を年1回行う(6月中旬予定)	テクノセンターニュース発行(6月17日)「苫小牧テクノ情報サービス」(4回発行)	◎	工業労政課	◎
					下期	「苫小牧テクノ情報サービス」のメール発信を年1回以上行う	10回発行した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) 人と自然にやさしい身近に生活できるまちづくり

人にも環境にもやさしい、歩いて暮らせる地域づくりを実現する	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	201	都市計画課HPや市民情報コーナー等を活用し、地域別のまちづくり構想について、より一層の市民周知を図るとともに、コンパクトなまちづくりに向けた検討を行う	上期	総合都市交通マスタープランの策定に向け調査検討を行う	第2回及び第3回協議会を開催し、市営バスの現状把握や実態調査の為の検討を行った	◎	まちづくり推進課	◎
					下期	総合都市交通マスタープランの策定に向け調査検討を行う	第4回協議会を開催し次年度行う事業の承認を得て、公共交通システム構築へ向けて検討を行った	◎		
自転車道路や歩行者道路などの整備により、環境負荷の小さな交通手段の利用促進を図る	◎：0目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	202	自転車や徒歩による移動の促進のため、自転車道路や歩行者道路の整備を推進する	上期	自転車歩行者道の整備事業を進める	現在、工事を進めている最中である	○	道路建設課	○
					下期	自転車歩行者道の整備事業を進める	適切に整備を進めた（1路線実施）	◎		

(施策) 船舶や鉄道による大量輸送システムを推進する

旅客や物流などによる環境負荷の低減を図る	◎：1目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	203	環境にやさしい物流について、事業者への情報提供を行う	上期	環境にやさしい物流についての情報HPで紹介する	当課HP（事業者向け環境情報）に当該情報へのリンクを掲載した	◎	環境保全課	◎
					下期	環境にやさしい物流についての情報をHPで紹介する	当課HP（事業者向け環境情報）に当該情報へのリンクを掲載した	◎		
			204	関係機関連携・協力のもと、港湾整備を計画的に行う	上期	全国市長会港湾都市協議会（7月）に参加し、国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける	全国市長会港湾都市協議会に参加し、国や道に対し、港湾整備の促進に関する要望を行った（7月29日）	◎	企業立地課	○
					下期	全国市長会港湾都市協議会（7月）の結果も踏まえ、国や道と関係する会議がある際には、港湾整備事業の促進を働きかける	上期に実施	○		
			205	関係機関連携・協力のもと、埠頭から主要道間の道路を計画的に整備する	上期	全国市長会港湾都市協議会（7月）に参加し、国や道に対し、港湾整備事業の促進を働きかける	全国市長会港湾都市協議会に参加し、国や道に対し、港湾整備の促進に関する要望を行った（7月29日）	◎	企業立地課	○
					下期	全国市長会港湾都市協議会（7月）の結果も踏まえ、国や道と関係する会議がある際には、港湾整備事業の促進を働きかける	上期に実施	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況		担当課	評価
環境負荷低減のため、道路環境の整備・改善や、低公害車の普及を図る	◎：3目標 ○：2目標 一：0目標 ×：0目標	○	206	低公害車や低排出ガス車について、市民、事業者への情報提供を行う	上期	低公害車や低排出ガス車についての情報をイベント時やHPで紹介する	当課HP（事業者向け環境情報）に当該情報へのリンクを掲載した。また、出前講座で市民に情報を提供した	◎	環境保全課	◎
					下期	低公害車や低排出ガス車についての情報をイベント時やHPで紹介する	当課HP（事業者向け環境情報）に当該情報へのリンクを掲載した。また、出前講座で市民に情報を提供した	◎		
			207	信号の連動化等を関係機関に要請し、安全施設の改良により発進・停車を解消する事で、公害防止を図る	上期	道路環境の現状把握に努め（定点で上期1回交通量調査を実施し）交通安全施設等設置に向け関係機関に要請する	交通死亡事故発生現場において、地域町内会と苫小牧警察署・市道路管理者の関係者が立会い・現場診断を行い押しボタン式信号機の待ち時間調整を苫小牧警察に要請した	◎	安全安心生活課	◎
					下期	道路環境の現状把握に努め（定点で下期1回交通量調査を実施し）交通安全施設等設置に向け関係機関に要請する	ときわ町内会から信号設置要望があった。道路交差点で交通量調査を実施し、現状を確認。苫小牧警察署に信号設置の要請を行った	◎		
			208	市内主要道路の整備を計画的に進め、また国道、道々においては、市より要望等を行い渋滞の緩和を促進する	上期	渋滞の原因を把握し改善に努めることで、排気ガスによる環境負荷の低減を図る	今期間には、対象となる事業がなかった	○	道路建設課	○
					下期	渋滞の原因を把握し改善に努めることで、排気ガスによる環境負荷の低減を図る	今期間には、対象となる事業がなかった	○		
			209	植樹帯の伴う市内主要道路新設時は、街路樹を計画的に植栽し、大気汚染や騒音等の緩衝機能のための緑化を推進する	上期	主要な道路には道路整備に植栽を取り入れていく	現在、工事を進めている最中である	○	道路建設課	○
					下期	主要な道路には道路整備に植栽を取り入れていく	適切に整備を進めた(2路線実施)	◎		
			210	既存街路樹及び緑地帯の維持管理を計画的に行い、大気汚染や騒音等の緩衝機能を維持する	上期	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	良好な景観を保つよう生垣の刈込みや除草を主体に実施した。今後は剪定を主体に実施予定	◎	緑地公園課	◎
					下期	既存街路樹や緑地帯の維持管理の実施	同上	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
航空機騒音の低減を図る	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	211	関係機関連携・協力のもと、空港整備を計画的に行う	上期	苫小牧市騒音対策協議会要望活動(9月)に参加し、国や道に対し、空港整備事業の促進を働きかける	9月28日～30日、協議会委員(9名)と共に国交省、防衛省に対し騒音軽減や防音工事に関する要望活動を行った	◎	空港政策課	◎
					下期	苫小牧市騒音対策協議会要望活動(9月)の結果を検証する。また、国や道と同席の会議がある際には、空港整備事業の促進を働きかける	11月26日に協議会を開催し、9月に行った要望活動の報告、検証を行った	◎		
			212	航空機騒音監視の徹底と、必要に応じて空港設置者及び発生源に対する要請や住民への情報提供ならびに関係機関との調整を行う	上期	常時監視結果を毎月住民へ情報提供する。必要に応じ関係機関への対策要請を行う	常時監視を実施し、毎月、空港政策課を通し、住民への情報提供を実施した	◎	環境保全課	◎
					下期	常時監視結果を毎月住民へ情報提供するとともに環境白書で公表する。必要に応じ関係機関への対策要請を行う	航空機騒音の常時監視を実施し毎月、空港政策化を通し、住民への情報提供を実施した	◎		

(施策) 事業所での環境マネジメントシステム導入の推進

多様な組織に対応した環境マネジメントシステムの普及を進める	◎：3目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	213	環境マネジメントシステムの普及のための情報提供を行う	上期	環境マネジメントシステムの制度についてHPで紹介する。また、新たな環境マネジメントシステムの情報があればその都度追加する	当課HP(事業者向け環境情報)に当該情報へのリンクを掲載した	◎	環境保全課	◎
					下期	環境マネジメントシステムの制度についてHPで紹介する。また、新たな環境マネジメントシステムの情報があればその都度追加する	当課HP(事業者向け環境情報)に当該情報へのリンクを掲載した	◎		
			214	環境マネジメントシステムの審査員制度について、市民への情報提供を行う	上期	環境マネジメントシステムの審査員制度についてHPで紹介する。また、新たな環境マネジメントシステムの審査員制度の情報があればその都度追加する	当課HP(事業者向け環境情報)に当該情報へのリンクを掲載した	◎	環境保全課	◎
					下期	環境マネジメントシステムの審査員制度についてHPで紹介する。また、新たな環境マネジメントシステムの審査員制度の情報があればその都度追加する	当課HP(事業者向け環境情報)に当該情報へのリンクを掲載した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価	
			215	協定締結企業の協定履行についてEMSを活用した監視・指導を行う	公害防止協定の履行に問題が発生した場合「苫小牧市公害防止マニュアル」に基づき、原因究明・対策などに対する指導を行う 上期	「苫小牧市公害防止マニュアル」に基づき、立入調査、及び企業の環境管理への取組状況のアンケート調査を実施した	◎	環境保全課	◎
					公害防止協定の履行に問題が発生した場合「苫小牧市公害防止マニュアル」に基づき、原因究明・対策などに対する指導を行う 下期	不適切な事象があった事業者には「公害防止マニュアル」に基づき、適宜対策等について指示を行った	◎		

(施策) 環境学習・環境教育の拠点づくりと人材育成を進める

市民が自主的に学習し保全活動ができるための活動拠点づくりと人材発掘・育成に努める	◎：2目標 ○：0目標 一：0目標 ×：0目標	◎	216	職員研修等を実施する際には、可能な範囲内で積極的に環境に関するテーマを取り入れる	新規採用職員研修時(4月)の際には、可能な範囲内で積極的に環境に関するテーマを取り入れる 上期	新規採用職員研修時に、ISO研修に取り入れた	◎	人事研修課	◎
					社会人枠採用職員研修(10月)の際には、可能な範囲内で積極的に環境に関するテーマを取り入れる 下期	10月の新採用職員研修時に、ISO研修を取り入れた	◎		
			217	身の回りのさまざまな環境を考える学習の機会を市民に提供する。	積極的な普及・啓発により子どもエコクラブ事業を推進する。また、ecoライフ大作戦事業としてエコクッキング教室、水生生物観察会、自然観察会を実施する 上期	子どもエコクラブには、3団体81名の市民が参加し、自主的なエコ活動を展開した。また、エコクッキング教室(22名参加)、水生生物観察会(40名参加)を実施した。自然観察会は、下期に実施予定	◎	環境保全課	
					積極的な普及・啓発により子どもエコクラブ事業を推進する。また、ecoライフ大作戦事業として最先端のエコ現場見学会を実施する 下期	上記に引き続き、3団体81名の市民が参加した。3月に開催された「子どもエコクラブ全国フェスティバル」に壁新聞が選抜されたほか、「子どもエコクラブ活動のしおり」にも1年間の活動状況を掲載した。また、自然観察会(20名参加)、最先端エコ現場見学会(34名参加)を実施した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) 生涯学習のなかで、環境学習を推進する

自分たちが自然の一員であり、自然とのつながりの中で支え合って生きていることを学び、暮らしの中で、環境保全についての基本的な知識や地域住民としての役割意識を学ぶ	◎：1目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	218	地域での環境学習推進への協力を行う	4月1日発行の生涯学習便りで環境学習の情報の提供を行うとともに、市民からの相談を関係部署に取り次ぐ	計画どおり「ecoライフ大作戦キックオフイベント」の開催案内を掲載。生涯学習だより掲載情報等について市民からの相談に対応した	◎	生涯学習推進課	◎
					10月1日発行の生涯学習便りで環境学習の情報の提供を行うとともに、市民からの相談を関係部署に取り次ぐ	8月1日発行の生涯学習だよりには、環境学習を含む出前講座案内を行なうとともに生涯学習だより掲載情報等について市民からの相談に対応した	◎		

(施策) 学校教育のなかで、環境学習を推進する

学校教育の中で、自然の一員であり、自然とのつながりの中で支え合って生きていくことを学ぶ	◎：3目標 ○：2目標 —：0目標 ×：0目標	○	219	ごみと環境問題の関わりについての意識啓発を行うため、副読本を作成し、中学生に対する配布を行う	小中学校副読本の配布により、幼少期からごみと環境問題についての意識啓発を行う	苫小牧市教育研究所環境教育研究委員会の協力により、小中学校副読本をそれぞれ作成した。9月に各小学校へ配付完了。中学校は、毎月打ち合せを行った	◎	減量対策課	◎
					小中学校副読本の配布により、幼少期からごみと環境問題についての意識啓発を行う	苫小牧市教育研究所環境教育研究委員会の協力により、小中学校副読本をそれぞれ作成。3月に発注。各小中学校へ配布に向けた準備をした	◎		
			220	小学校高学年を対象に「野生動物とのふれあい」をテーマに出前講座を実施し、自然環境保全の重要性を伝える	「野生動物とのふれあい」出前講座を23小学校で各1回ずつ実施する	出前講座を実施した。実施校4校、受講生520名	○	環境生活課	○
					「野生動物とのふれあい」出前講座を23小学校で各1回ずつ実施する	出前講座を実施した。実施校5校、受講生431名	○		
			221	学校、地域、社会など幅広い場における環境教育を推進するため、出前講座を実施する	学校や関連施設等での出前講座を実施する。 ・環境家計簿の活用について ・1人1日1.5kgCO2削減について ・地球温暖化について	出前講座を6回実施し、133名の市民が受講した	◎	環境保全課	◎
					学校や関連施設等での出前講座を実施する。 ・環境家計簿の活用について ・1人1日1.5kgCO2削減について ・地球温暖化について	出前講座を7回実施し、209名の市民が受講した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			222	市内各小中学校における教育活動の中で、外部講師を活用した「環境教育」の推進における具体的方策の検討し実施する	上期	各学校に対して、随時指導助言を行う。上期1回(5月頃)に各学校を訪問し、具体的方策について指導助言を行う	学校経営訪問等の機会において適切に指導助言を行うことができた(市内全校5月～7月)	◎	(教)指導室	◎
					下期	各学校に対して、随時指導助言を行う。上期1回(5月頃)に各学校を訪問し、具体的方策について指導助言を行う	局要請訪問等の機会において適切に指導助言を行うことができた(市内全校11月～12月)	◎		
			223	学校版ISOの検討および導入にあたり、出前講座や各種説明会の中で環境に関する内容を可能な限り盛り込み、普及に努める	上期	学校版ISOの検討及び導入にあたり、学校から環境教育に関する相談があれば積極的にPRし、導入支援を行う	平成21年度キッズISOプログラムの周知を行い、美園小学校が実施校と認定された	◎	(教)総務企画課	○
					下期	学校版ISOの検討及び導入にあたり、学校から環境教育に関する相談があれば積極的にPRし、導入支援を行う	地球温暖化対策地域推進計画において計画している事業の進め方について、ISOとリンクした取り組みを実施することを担当課と協議した	○		

(施策) 市民参加システムの構築

苫小牧市環境基本計画推進会議において、環境基本計画の進行管理を行う	◎:0目標 ○:1目標 —:0目標 ×:0目標	○	224	自然環境の貴重さ、環境問題の実態、環境配慮行動の促進等を啓発するための事業を企画、運営する	上期	推進会議を3回程度開催し、事業の企画・運営を行う	推進会議を3回(5月26日、7月3日、8月19日)を開催し、事業の企画・運営を行った	◎	環境保全課	○
					下期	推進会議を3回程度開催し、事業の企画・運営を行う	推進会議を2回(10月13日、3月24日)を開催し、事業の企画・運営を行った	○		
まちづくりに市民が参加する機会の拡充を図る	◎:4目標 ○:2目標 —:0目標 ×:0目標	○	225	市民参加条例の施行に伴い、市民主体のまちづくりを具体的に推進していく	上期	市民参加条例に則り、市民自治によるまちづくりを進めるため、市政運営への市民参加を促進していく	HPに市民参加ページを立ち上げ、市民参加を促進した	◎	市民自治推進課	◎
					下期	市民参加条例に則り、市民自治によるまちづくりを進めるため、市政運営への市民参加を促進していく	設定根拠で環境目的から考えると「市民参加条例」の施行によって全て果たされている。そのため、21年度を以ってこの項目についてはアクションプログラムからはずす必要があることを検討した	◎		
			226	出前講座や各種説明会の中で、環境に関する内容を可能な限り盛り込む	上期	出前講座や各種説明会を実施する際には、可能な限り環境に関する内容を盛り込む	市民参加の説明会などでは、出来るだけ参加し易い「環境」に配慮するよう説明に盛り込んだ	◎	市民自治推進課	◎
下期	出前講座や各種説明会を実施する際には、可能な限り環境に関する内容を盛り込む	下期と同じ	◎							

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価		
			227	環境に影響が想定される事業実施及び計画策定の際、法や条例等既存制度に基づき、市民意見反映等の対応を行う	上期	条例に該当する工場等の新增築がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う	当期間に該当する事業や計画策定はなかった	○	企業立地課	○
					下期	条例に該当する工場等の新增築がある場合、市民も参加する審議会において、調査審議を行う	同上	○		
			228	市民参加型のイベント等において、市民意見の拾い上げを行う	上期	1人1日1.5kgCO2削減出前講座を全町内会に実施する	出前講座を77町内会を対象に18地区で開催し、435名の市民が受講した	◎	環境保全課	◎
					下期	1人1日1.5kgCO2削減出前講座を全町内会に実施するほか、12月にパネルディスカッションを行う	出前講座は5町内会を対象に開催し、67名の市民が受講した。また、12月19日にパネルディスカッション(60名参加)を開催した	◎		
			229	出前講座や介護予防活動支援事業(げんき倶楽部・はつらつ教室・講演会等)の中で、環境に関する内容を可能な限り盛り込む	上期	地域や団体からの要請により出前講座等を開催する際に、環境に関する内容をできるだけ盛り込む	平成21年9月末時点の出前講座開催回数は10回であり、都度環境に関する話題を盛り込む様務めた	○	介護福祉課	○
					下期	地域や団体からの要請により出前講座等を開催する際に、環境に関する内容をできるだけ盛り込む	今年度下期の出前講座の開催回数は11回であり、その都度環境に関する話題を盛り込むように努めた	○		
			230	リーダー養成事業で子ども会議(小5～中2)を開催し、「まちづくり」に対する自由な発想や意見を出し合い市政に対する関心を高めるとともに、自主的に社会参加する青少年を育成する	上期	9月中旬に「子ども会議」の実施計画の策定に入る	来年の1月に参加する「子ども会議」の実施日程等の検討を実施した	◎	青少年課	◎
					下期	11月中旬に「子ども会議参加者」募集案内を発送し、12月上旬に参加者を決定し、1月中旬に「子ども会議」を開催する	12月から3回の事前研修を行い、1月31日(日)に18名が参加し実施した。各班のテーマの中で、「環境」をテーマにした発表があった。その後、全体会議の中で、「eco活動」について話し合い意識を高めた	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況					
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価

(施策) 市民、行政、事業者、専門機関などの間で、環境情報の共有を進める

市民参加促進のため、わかりやすい情報の提供・公開に努める	◎：13目標 ○：5目標 —：0目標 ×：0目標	○	231	市民や関係機関に送付する封筒や印刷物に、環境に配慮した物品を使用しているラベルや文言を明記することで、環境への取組をPRする	市民や関係機関に送付する封筒や印刷物に、環境に配慮した物品を使用しているラベルや文言をこれまで以上にはっきり明記することで、環境への取組をPRする	封筒類、約220,000枚発注したが、全ての封筒に環境に配慮した品であることを表示した	◎	会計課	◎	
				市民や関係機関に送付する封筒や印刷物に、環境に配慮した物品を使用しているラベルや文言をこれまで以上にはっきり明記することで、環境への取組をPRする	市民や関係機関に送付する封筒や印刷物に、環境に配慮した物品を使用しているラベルや文言をこれまで以上にはっきり明記することで、環境への取組をPRする	下記は封筒類約270,000枚発注し上記と同じく環境への取り組みをPRした	◎			
			232	市民に配布する広報紙に、環境に配慮した物品を使用している文言などを明記し、環境への取り組みを発信する	広報紙に、印刷物は環境にやさしい植物油インキを使用している旨の表記をする	毎月号に古紙100%再生紙や大豆を使用した植物油インキを使用している旨を明記し、環境に配慮した取り組みの発信を行った	◎	秘書広報課	◎	
				広報紙に、印刷物は環境にやさしい植物油インキを使用している旨の表記をする	毎月号に古紙100%再生紙や大豆を使用した植物油陰気を使用している旨を明記し、環境に配慮した取り組みの発信を行った	◎				
			233	広報紙や苫小牧市HPの中で、エコライフ大作戦における取り組みなど環境対策に関する記事を積極的に掲載する	広報紙に毎月、エコライフ大作戦の記事を掲載し、エコ意識の向上とエコ活動の実践を促す。また、苫小牧市HPにおいてエコライフ大作戦関連の内容を随時更新する	広報紙に毎月エコライフ大作戦の記事を掲載。また6月号では「地球温暖化」について特集記事を掲載した。HPでエコライフ大作戦関連の内容を随時更新した	◎	秘書広報課	◎	
					広報紙に毎月、エコライフ大作戦の記事を掲載し、エコ意識の向上とエコ活動の実践を促す。また、苫小牧市HPにおいてエコライフ大作戦関連の内容を随時更新する	広報誌に毎月ecoライフ大作戦の記事を掲載。また11月号では「ecoライフ大作戦展開中」の特集を組み掲載した。HPでecoライフ大作戦関連の内容を随時更新した	◎			
			234	イントラネットに接続する端末等の整備を計画的に行う	端末等の利用状況調査を行う。8月～9月	端末等の利用状況調査を行う。8月～9月	端末のシンククライアント化に向けて、利用状況の実地調査及び導入に伴う問題点の聞き取り調査を行った (8月～9月)	◎	情報化推進室	◎
					端末等の更新計画立案を行う。10月～11月	10月から3月末までに約580台のシンククライアント端末の導入を終えた	◎			

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			235	苦小牧市予算書等の印刷物に環境に配慮した物品を使用している文言を明記することで、環境への取り組みをPRする	上期	苦小牧市決算書等の冊子を作成した際は環境に配慮した物品使用している文言を明記する	苦小牧市決算書に環境に配慮した物品を使用している文言を記載した	◎	財政課	◎
					下期	苦小牧市予算書等の冊子を作成した際は環境に配慮した物品使用している文言を明記する	苦小牧市予算書に環境に配慮した物品を使用している文言を記載した	◎		
			236	市民や関係機関に送付する封筒や印刷物に、環境に配慮した物品を使用しているラベルや文言を明記することで、環境への取組をPRする	上期	市民や関係機関に配布する印刷物や封筒は環境に配慮した物品であることを明記しPRする	一部の封筒に文言が記載されていないものがあつた。今後の印刷発注時に文言を入れるよう注意した	○	住民課	○
					下期	市民や関係機関に配布する印刷物や封筒は環境に配慮した物品であることを明記しPRする	在庫があるため以前文言のはいっていない封筒がある。次回発注時に忘れずに入れる	○		
			237	窓口で使用する用紙に、環境に配慮した物品を使用している文言を明記することで、環境への取組をさらにPRしていく	上期	窓口で使用、配布する用紙に環境に配慮した物品を使用している文言を明記し、環境への取組のPRに努める	在庫があり、来庁者に渡す全ての文書に文言が記載されている状態にはなっていなかった。また、まだ文言を入れていない文書もあり、下期に向けて今回判明した文書も文言を入れて作るようにした	○	住民課	○
					下期	窓口で使用、配布する用紙に環境に配慮した物品を使用している文言を明記し、環境への取組のPRに努める	在庫の関係で来庁舎に渡すすべての文書に文言を入れたものを用意できなかった。今後の印刷時に対応していきたい	○		
			238	住民や関係者に送付する封筒等に環境に配慮した物品を使用している文言を明記することで、環境への取り組みをPRする	上期	新規及び既存入居者に交付・配布する住宅使用料等納入通知書の封筒に再生紙を使用している旨の文章を印刷する	未発注 (22年1月発注予定)	○	住宅管理課	○
					下期	新規入居者に交付する住宅使用料等納入通知書の封筒に再生紙を使用している旨の文章を印刷する	庁内共同購入のため再生紙の確保ができなかったため実施できなかった	○		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			239	市HPにより、ISOの取組状況を公表する	上期	市HPにおいて改訂した環境方針の他、前年度の活動成果について公表する	環境方針、環境基本計画推進、及び環境負荷低減に関する活動成果、さらにグリーン購入や公共工事環境配慮の取組実績も公表した	◎	環境保全課	◎
					下期	市HPにおいて次年度の環境目的・目標について公表する	2月に著しい環境側面（優先取り組み項目、重点管理項目22項目）および、環境目的、目標（環境基本計画推進目標数272、環境負荷提言目標数9）をHPに掲載した	◎		
			240	市民や関係機関に送付する封筒や葉書、印刷物に環境に配慮した物品を使用しているラベルや文言を明記することで、環境への取組をPRする	上期	対象者用封筒を作成時に「再生紙使用」を明記する（7月）	前年度作成の封筒で間に合ったため作成しなかった	○	医療支援課 高齢者医療課	○
					下期	医療助成制度の説明用ポスターを作成時に「再生紙使用」を明記する（3月）	大幅な制度改正がなかったため、ポスターは作成せず、修正用シールを送付した	○		
			241	市民や関係機関に送付する封筒や印刷物に、環境に配慮した物品を使用している文言を明記することで、環境への取組をPRする	上期	6月と9月に郵送する「国保だより」と封筒に、再生紙使用の記載をする(2回) 7月郵送の高齢受給者証の封筒に再生紙使用の記載をする(1回) 6月、9月郵送する短期証の封筒に再生紙使用の記載をする(2回)	○国保だより 6月15日 25,475件送付した ○封筒 9月18日 23,618件送付した ○高齢受給者証封筒 7月17日 5,720件送付した ○保険証封筒 6月24日 1,715件送付・9月18日 23,618件送付した	◎	国保課	◎
					下期	12月、3月郵送する短期証の封筒に再生紙使用の記載をする(2回)	保険所封筒 12月18日、3,265件送付し、3月19日、2,020件送付した	◎		
			242	市民等に送付する郵便物（封筒、はがき）や印刷物に環境に配慮した物品をしている文言を明記し、環境への取組をPRする	上期	予定なし	実施しなかった	○	(上下水) 総務課	○
					下期	水道事業PR広報誌発行時（12月）に、使用している用紙が再生紙であることを表示し、環境への取組をPRする	12月1日発行の上下水道事業PR広報誌の用紙は再生紙を使用した	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況						
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)	進捗状況	担当課	評価	
			243	市HPで、市街化調整区域に対する制限について啓発記事を記載する	上期	苦小牧市HPを活用し、市街化調整区域に対する制限について啓発を行うとともに市街化調整区域を毎月パトロールし、建築物を発見した場合、所有者に対し建物の撤去をもとめる	HPを活用し、市街化調整区域に対する制限について啓発するとともにパトロールを行い監視している	開発管理課	◎
					下期	苦小牧市HPを活用し、市街化調整区域に対する制限について啓発を行うとともに市街化調整区域を毎月パトロールし、建築物を発見した場合、所有者に対し建物の撤去をもとめる	HPを活用し、市街化調整区域に対する制限について、啓発するとともにパトロールを行い監視している(パトロール6回実施)		
			244	関係機関等に送付する封筒や印刷物に、環境に配慮した物品を使用しているラベルや文言を明記することや封筒の再利用を促すことで、環境への取り組みをPRする	上期	議会概要、議会年報及び議会議員録の作成時に環境に配慮した用紙を使用し、その旨を明記する	議会概要(6月25日発行、800部)議会年報(6月1日発行、100部)議会議員録(8月1日発行、120部)いずれも再生紙を使用している旨明記した	(議会)総務課	◎
					下期	①市政概要作成時に、環境に配慮した用紙を使用し、その旨を明記する ②議会事務局用封筒作成時に、環境に配慮した用紙を作成するとともに、封筒を再利用できる様式に印刷する	市政概要(10月31日発行、200部)作成時に再生紙を使用し、その旨明記した。なお、封筒は作成しなかった		
			245	市民と議会との情報共有を推進するため、議会HPの充実を図るとともに、インターネットによる議会中継を実施する	上期	苦小牧市議会本会議並びに予算委員会のインターネット中継を引き続き行うなど、市議会HPを充実させる	平成21年9月に12月定例会の一般質問をケーブルテレビで録画放送することを決定した	(議会)総務課	◎
					下期	苦小牧市議会本会議並びに予算委員会のインターネット中継を引き続き行うなど、市議会HPを充実させる	インターネット中継及びケーブルテレビの録画中継を引き続き行った		
			246	関係機関に提出する印刷物に環境に配慮した物品を使用している文言を明記することで、環境への取り組みをPRする	上期	各会計決算及び基金運用状況審査意見書に環境に配慮した紙の使用及び不用時の資源回収等を明記する	8月に作成した審査意見書において実施できた	監査委員事務局	◎
					下期	実施予定なし	上期において実施し、下期は該当なし		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況		担当課	評価
			247	水道週間や施設見学会の中で環境啓発に関する内容を盛り込む	上期	「6月の水道週間」及び「施設見学会」において環境啓発に関する内容を盛り込む	6月の水道週間及び施設見学会の際、環境啓発についての説明を行った	◎	高丘浄水場	◎
					下期	「施設見学会」で環境啓発に関する内容を盛り込む	計画通り実施した	◎		
			248	水道週間や施設見学会の中で環境に関する内容を可能な限り盛り込む	上期	6月の「水道週間」及び「施設見学会」の中で環境啓発をおこなう	水道週間に31名、施設見学会に6回380名が来場し、説明の中で環境啓発を行った	◎	錦多峰浄水場	◎
					下期	「施設見学会」の中で環境啓発をおこなう	施設見学会に1回15名が来場し、説明の中で環境啓発を行う	◎		

(施策) 地元や周辺地域との連携づくり

市民・事業者・行政ならびに周辺地域との連携により、環境課題の解決を図る	◎：2目標 ○：0目標 —：0目標 ×：0目標	◎	249	市内各小中学校の「環境教育」の推進に係わる地域素材の活用や施設・事業所等との連携を深めるとともに、各学校が進める「環境教育」について地域に啓発する	上期	各学校に対して、随時指導助言を行う。上期1回(5月頃)に各学校を訪問し、具体的方策について指導助言を行う	学校経営訪問等の機会において適切に指導助言を行うことができた(市内全校5~7月)	◎	(教)指導室	◎
					下期	各学校に対して、随時指導助言を行う。上期1回(5月頃)に各学校を訪問し、具体的方策について指導助言を行う	局要請訪問等の機会において適切に指導助言を行うことができた	◎		
			250	地域での環境学習推進への協力を行う	上期	関連施設と連携し収集した情報を4月1日発行の生涯学習便り提供	関連施設との連携だけでなく、NPO法人との連携を進め、収集した情報を出前講座に取り入れて、生涯学習だよりで提供した	◎	生涯学習推進課	◎
					下期	関連施設と連携し収集した情報を10月1日発行の生涯学習便り提供	関連施設の情報に留まらず、市民の参加できる道民カレッジ、放送大学など、各種の講座や催し物の情報を生涯学習だよりで提供した	◎		

(施策) 国内外の他地域との連携づくり

国内外との交流により地球環境問題の影響実態を知り、連携により効果的な対策を進める	◎：2目標 ○：1目標 —：0目標 ×：0目標	○	251	こども国際交流事業(中国派遣)の事前研修で、苫小牧市の環境に対する取組み並びに中国における五輪後の環境への取組みについて説明の機会を設ける	上期	事前研修の際(6月)に、本市の環境に対する取組み並びに中国における五輪後の環境への取組みについて説明を行なう	新型インフルエンザの影響により事業が中止となった	○	市民自治推進課	○
					下期	点検結果を振り返り、説明資料の点検と次年度に向けた準備を行なう	次年度も中学生を秦皇島に派遣するため、現地とも連携し中国での取組みを調査している	◎		

環境目的達成状況			環境目標達成状況							
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	アクションプログラム (年度計画)		進捗状況	担当課	評価	
			252	国内外の先進的な環境対策事例を参考に、事業の立案を行う	上期	事業の立案にあたっては国内外の先進的な環境対策事例を参考にする	他自治体の温暖化対策等を視察し、HP等で収集し、事業立案の参考とした	◎	環境保全課	◎
					下期	事業の立案にあたっては国内外の先進的な環境対策事例を参考にする	他自治体の温暖化対策等をHP等で収集し、事業立案の参考とした	◎		
			253	市のHPや環境白書により、環境基本計画の進捗状況を公表するとともに、企業が取り組む環境保全対策事例について、事業者への情報提供を行う	上期	企業の環境保全活動をHPで紹介する。環境基本計画の進捗状況をHP及び環境白書に掲載する	当課HP（事業者向け環境情報）に当該情報へのリンクを掲載した。計画の進捗状況は、当課HP、及び環境白書に掲載した	◎	環境保全課	◎
					下期	企業の環境保全活動をHPで紹介する。環境基本計画の進捗状況をHP及び環境白書に掲載する	当課HP（事業者向け環境情報）に当該情報へのリンクを掲載した。計画の進捗状況は、当課HPおよび環境白書に掲載している	◎		